

岡山理科大学学則

第1章 総 則

(目的)

第1条 岡山理科大学（以下「本大学」という。）は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、学術の理論及び応用を研究教授するとともに、豊かな人間性と創造的知性を備えた人材を育成して、学術文化の向上と社会の発展に寄与することを目的とする。

(自己点検・評価)

第1条の2 本大学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的を達成するために、教育研究活動などの状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 自己点検及び評価に関し必要な事項は、別に定める。

(学部、学科及び学生定員)

第2条 本大学に次の学部及び学科を置き、学生定員を次のとおりとする。

	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
理学部			
応用数学科	110名		440名
基礎理学科	90名		360名
物理学科	45名		180名
化学科	75名		300名
動物学科	45名		180名
工学部			
機械システム工学科	90名		360名
電気電子システム学科	70名		280名
情報工学科	75名		300名
応用化学科	60名		240名
建築学科	75名	5名	310名
情報理工学部			
情報理工学科	210名		840名
生命科学部			
生物科学科	165名		660名
生物地球学部			
生物地球学科	120名		480名
恐竜学科	45名		180名
教育学部			
初等教育学科	60名		240名
中等教育学科	50名		200名
経営学部			
経営学科	160名		640名
獣医学部			
獣医学科	140名		840名
獣医保健看護学科	60名		240名

(アクティブラーナーズコース)

第2条の2 本学に、クロスカリキュラム型の教育を行うためのコースとしてアクティブラーナーズコースを置く。

2 アクティブラーナーズコースに関する規程は別に定める。

(学部及び学科の教育研究上の目的)

第2条の3 学部及び学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を次のとおりとする。

(1) 理学部は、人間・社会・地球環境を念頭に置いた幅広い一般教養・社会常識を背景にして、真理に対する深い感動と畏敬をもって自然科学の基礎知識を習得し、社会で実践する能力を有する人材の養成を目的とする。

ア 応用数学科は、数学の理論と応用の両面を基礎から体系的に教育することにより、問題解決のための数理的な思考力・応用力・情報技術を身につけ、教育や情報社会に広く貢献できる人材の養成を目的とする。

- イ 基礎理学科は、自然科学、数理科学、情報科学の基礎的総合的学習と、複数の分野が融合する学際領域の研究体験を通して、教育界や産業界など各界で実践的に活躍できる人材の養成を目的とする。
- ウ 物理学科は、科学技術の基礎となる物理学・応用物理学の基幹分野を体系的に学習し、数理解析法と実験計測法の修得を通じて、理工学分野にて幅広く活用できる科学的思考力・分析力・創造力を有した人材の養成を目的とする。
- エ 化学科は、学生と社会のニーズに対応した多様なカリキュラムにより、化学を中心とした高度な知識と技術を習得させ、化学に関連した分野で活躍する技術者や研究者及び理科教育に携わる人材の養成を目的とする。
- オ 動物学科は、理学の根源的な知的好奇心に発する、広く深い博物学・基礎生物学の伝統に根ざして、人間社会と自然の調和を図り、持続可能な人類の未来創造のための基礎や応用を築く人材の養成を目的とする。
- (2) 工学部は、ものづくりに必要な知識と技能を修得し、他の人と協働してそれらを活用し得る能力、地球的視野から多面的に物事を理解し判断し得る能力、そして技術者としての倫理観を備え、科学技術を通して技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- ア 機械システム工学科は、進歩の著しいものづくり社会に対応できるよう、基礎となる知識の修得とそれを応用する能力を身につけ、人と自然に優しい機械システムを構築できる創造性のあるエンジニアの養成を目的とする。
- イ 電気電子システム学科は、「エネルギー」と「情報」を対象に「エレクトロニクス」を手段として扱う電気電子工学の分野の幅広い領域にわたる教育研究を通して、問題解決能力、柔軟で総合的な判断力、グローバルな視野からの発想力、論理的思考力、自己の考えの伝達力などを身に付けた電気電子技術者の養成を目的とする。
- ウ 情報工学科は、ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークを含む情報システムに関する知識と技能を教授し、システム構築のための実験実習による教育や技術発展を目指した研究を通して思考力や判断力を身につけさせ、情報化社会の基幹専門分野で活躍できる主体性と倫理観を備えた人材の養成を目的とする。
- エ 応用化学科は、化学と生物学の基礎を十分に修得した上で、「応用化学」と「バイオテクノロジー」を中心とする学際的な教育と研究を通して、幅広い専門的な知識と技能を有し、かつ、環境や社会への影響を考慮して自ら発想し、構想し、行動する能力を身につけた人材の養成を目的とする。
- オ 建築学科は、建築・まちづくりに必要な知識と技能を修得し、協働してそれらを活用し得る能力、地球的視野から多面的に物事を理解し判断し得る能力、そして技術者としての倫理観を備え、建築技術を通して技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- (3) 情報理工学部は、情報技術を核として社会にある問題を発見・分析し、新たな知見を得ることや情報システム開発、センサやロボット技術などを用いたシステム開発を行うことにより、人間の持つ様々な機能を拡張し、人に優しい社会を目指すことのできる人材の養成を目的とする。
- ア 情報理工学科は、情報技術を核として社会にある問題を発見・分析し、新たな知見を得ることや情報システム開発、センサやロボット技術などを用いたシステム開発を行うことにより、人間の持つ様々な機能を拡張し、人に優しい社会を目指すことのできる人材の養成を目的とする。
- (4) 生命科学部は、生命科学の基礎知識を体系的に理解し、それを応用したバイオテクノロジーの専門知識と技能を実践的に修得することで、自ら発想し行動する能力を身につけ、持続可能な社会の実現に貢献できる人材の養成を目的とする。
- ア 生物科学科は、現代の人類を取り巻く食糧や環境問題を解決するために、資源消費型から持続可能な循環型のものづくりへと変わる必要があることを鑑み、生命科学を基礎とする幅広い分野を学ぶ基盤部分と、食糧・環境・医療と健康の分野において、より深い専門技術を習得できる発展部分からなる教育研究を行うことで、環境と調和した豊かな暮らしを実現する技術開発に貢献しうる人材の養成を目的とする。
- (5) 生物地球学部は、生物学・地球科学・天文学・地理学・考古学・古生物学に関わる幅広い学際的な分野を体系的に習得することにより、地球温暖化、大気汚染、自然災害、生物多様性の減少など、さまざまな要因により複雑化した現代社会の諸問題の解決に貢献できる判断力と実行力を持つ人材の養成を目的とする。
- ア 生物地球学科は、生物学・地球科学・天文学・地理学・考古学に関わる幅広い学際的な分野を体系的に習得することにより、地球温暖化、大気汚染、自然災害、生物多様性の減少など、さまざまな要因により複雑化した現代社会の諸問題の解決に貢献できる判断力と実行力を持つ人材の養成を目的とする。
- イ 恐竜学科は、生物学と地質学の学際領域である恐竜を中心とする古生物学に関わる幅広い分野を体系的に習得することにより、古生物学的視点を通して、生物多様性や地球表層環境の変化など、現代社会の諸問題を認識し、持続可能な社会の実現へ貢献できる観察力や判断力、実行力を持ち、その解決策を提示できる人材の養成を目的とする。
- (6) 教育学部は、教育に関する基礎理論及び初等・中等教育の各教科内容と指導法の研究を通じて、教育の本質を深く理解し、児童・生徒への豊かな教育的愛情をもち、変動する社会の中で確かな使命感をもって教育に携わり、さまざまな教育課題に真摯に取り組むことのできる人材の養成を目的とする。
- ア 初等教育学科は、理科教育の重要性を認識し、小学校教員としての強い使命感、熱意、教育的愛情をもち、同僚と組織的に協働し、家庭・地域と連携して教育に取り組み、子どもや保護者、地域社会から信頼され、学び続ける姿勢と実践的指導力を備えた人材の養成を目的とする。
- イ 中等教育学科は、幅広い教養と教育学を基礎に、国語・英語の運用能力並びに教科の内容と指導法を系統的に修得し、現代社会やグローバル社会の情勢に強い関心と探究のまなざしを向け、人々の関わり（コミュニケーション）の基盤となる言語の力を次代に引き継ぐ確かな使命感と指導力を備えた人材の養成を目的とする。
- (7) 経営学部は、広義のマネジメントに関する社会諸科学の学びを通して、体系的な理論教育と応用的な実践教育の融合を追究する教育を実践することで、複雑化・国際化が加速する現代社会に対する理解力とクリエイティブな力を身につけ、問題発見・解決能力を養い、高めていくことを教育研究上の目的とする。
- ア 経営学科は、サービスを中心とした現代社会におけるイノベーションを「経済的付加価値の創造」として位置付け、マネジメント能力を基盤として、学生一人ひとりが自らの可能性に挑戦し、深い教養や専門知識及び総合的な判断力を身につけた社会人基礎力を有し、企業や自治体等の組織を変革する能力、及び経営を担える人材を養成することを目的とする。

(8) 獣医学部は、獣医学、獣医看護学に関する知識及び技能を基盤として、実践的かつ応用的な教育を通して、高い生命倫理観と豊かな人間性、国際的視野を備え、ライフサイエンス分野の発展、及び動物とヒトの健康と福祉に貢献する人材の養成を目的とする。

ア 獣医学科は、ライフサイエンス分野、公共獣医事分野及び医獣連携獣医分野における教育研究を通して、動物とヒトの健康と福祉に貢献できる人材の養成を目的とする。

イ 獣医保健看護学科は、動物の健康維持に必要な基礎的な獣医学知識、獣医看護学の専門知識と技能を持ち、獣医師とともに動物とヒトの健康と福祉、QOLの向上に貢献する人材の養成を目的とする。

(9) アクティブラーナーズコースは、学生が自らの将来像を描き、既成の学問領域にとらわれず、自らの学びの設計・実践・省察を習慣化するとともに、他者と関わりながら、複数の学問領域の知見を融合させ、新しい価値を創造する能力を身につけることで、変化の激しい社会に柔軟に対応し、組織や社会に変革をもたらすことのできる人材を養成することを目的とする。

(方針の策定及び明示)

第2条の4 本大学は、学部、学科の教育研究上の目的並びに人材養成の目的を達成するため、入学者受入れの方針、教育課程編成・実施の方針及び学位授与の方針を定め、これを明示する。

(修業年限)

第3条 本大学の修業年限は、4年とする。ただし、獣医学部獣医学科の修業年限は、6年とする。

2 大学の学生以外の者で、本大学において一定の単位を修得した者が本大学に入学した場合、修得した単位数その他の事項を勘案して相当期間（2年以内）を修業年限に通算することができる。

(在学期間)

第4条 前条の年限は、疾病その他の事由により延長することはできるが、在学期間は8年をこえることはできない。ただし、獣医学部獣医学科は12年とする。

2 獣医学部獣医学科においては、原則として同一年次における在学年数を2年以内とする。

第2章 学年・学期及び休業日

(学年)

第5条 春入学者の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 秋入学者の学年は、9月11日に始まり、翌年9月10日に終る。

(学期)

第6条 学年を分けて次の2期とする。

春学期 4月1日から9月10日

秋学期 9月11日から翌年3月31日

2 前項に定める各学期を前半及び後半に分けることができるものとする。

(休業日)

第7条 学年中の定期休業日は、次のとおりとする。ただし、教育上必要がある時は、休日又は休業日に授業を行うことができる。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 創立者の日 4月30日

(4) 創立記念日 5月4日

(5) 春季休業

(6) 夏季休業

(7) 冬季休業

2 前項第5号から第7号までの休業日については、年度ごとに学長が定める期間とする。

3 臨時の休業日は、そのつど学長が定める。

第3章 授業科目及び単位数

(科目の区分)

第8条 本大学の授業科目は、基盤教育科目、専門教育科目、教職関連科目、学芸員関連科目に区分する。ただし、獣医学部の授業科目は、専門教育科目、外国語教育科目、教養教育科目に区分する。

(授業科目)

第9条 教育課程は、教育課程編成・実施の方針に基づき、相互の関連性及び学修内容の順次性をふまえ、体系的に整備するものとする。

2 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択必修科目、選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

3 授業科目及び単位数は、次のとおり別表に定める。

全学部 (獣医学部、アクティブラーナーズコースを除く)	別表Ⅰ	基盤教育科目	
	別表Ⅱ	専門教育科目	(1) 理学部
			(2) 工学部
			(3) 情報理工学部
			(4) 生命科学部
(5) 生物地球学部			
(6) 教育学部			
(7) 経営学部			
別表Ⅲ	教職関連科目		
別表Ⅳ	学芸員関連科目		
獣医学部	別表Ⅴ	(1) 専門教育科目 (2) 外国語教育科目 (3) 教養教育科目	
アクティブラーナーズコース	別表Ⅵ	(1) 基盤教育科目 (2) 専門教育科目	

第10条 削除

(授業科目の単位数の基準)

第11条 1単位の授業科目を、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習は、15時間から30時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技は、30時間から45時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 1つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、第1号及び第2号に規定する基準を考慮して、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(授業の方法)

第11条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 本大学は、大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第25条第2項の規定に基づき文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 本大学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 4 本大学は、大学設置基準第25条第4項の規定に基づき文部科学大臣が別に定めるところにより(文科省告示第43号)、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
- 5 第2項に関する規程は、別に定める。

(成績評価基準等の明示等)

第11条の3 本大学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(ファカルティ・ディベロップメント)

第11条の4 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第4章 入学・休学・退学

(入学)

第12条 入学は学年の始めとする。

第13条 本大学の第1年次学生として入学することができる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第一号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (7) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

第 14 条 本大学に入学を志望する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に指定する書類を添えて本大学に願出しなければならない。

2 入学願書の受付期間は別に定める。

3 前項の規定は、第 18 条、第 21 条、及び第 28 条の規定により入学を志望する場合にもこれを準用する。

第 15 条 入学志望者については、入学者受入れの方針に基づき、学力及び人物について選考する。

2 選考方法に関して必要な事項は別に定める。

第 16 条 入学試験合格者は当該学部教授会の審議を経て、学長が決定する。

(入学手続)

第 17 条 入学試験合格者は、指定の期日までに入学金、授業料及びその他の諸納付金を納入するとともに、保証人連署の誓約書、卒業証明書等を提出し、かつ所定の宣誓をしなければならない。

2 入学試験合格者が故なくして、前項の手続きを怠るときは、合格の許可を取り消すことがある。

3 第 1 項の手続きを完了した者に対して学長は入学許可を与える。

4 編入学、転入学、及び再入学の場合も同様とする。

(編入学)

第 18 条 本大学の 2 年次以降に欠員のある場合には、別に定める資格を有する者を選考の上、当該学部教授会の審議を経て、学長が編入学を許可することがある。

2 編入学（短期大学を卒業した者を含む。）に関する規程は別に定める。

(転学部・転学科)

第 19 条 学生が所属学部から他へ転部しようとする時は、教育上支障がない場合に限り、受入先の学部教授会の審議を経て、学長が許可することがある。

2 学生が所属学部内において他学科への転科しようとする時は、教育上支障がない場合に限り、当該学部教授会の審議を経て、学長が許可することがある。

3 転学部、転学科に関して必要な事項は別に定める。

(転入学)

第 20 条 学生が他の大学へ転学、又は他の大学への入学を志願しようとするときは、学長に願出でて許可を受けなければならない。

第 21 条 他の大学から転入学を志願する者については、教育上支障がない場合に限り、選考の上、当該学部教授会の審議を経て、学長が許可することがある。

2 前項による入学者のすでに修得した単位及び在学した期間の認定は、当該学部教授会の審議を経て、学長が決定する。

(休学)

第 22 条 学生は、疾病その他の事由により、引続き 3 月以上就学困難な場合は、医師の診断書または、詳細な事由書を添えて、保証人連署をもって学長に願出でて、許可を受け休学することができる。

2 疾病その他の事由により、修学することが適当でない認められる学生に対しては、学長は、当該学部教授会の審議を経て、期間を定めて休学を命ずることがある。

第 23 条 休学の期間は、引続き 1 年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、さらに 1 年以上の休学を許可することがある。

第 24 条 休学期間は、通算して修業年限に相当する年数を超えることはできない。

第 25 条 休学期間は、在学期間に算入しない。

第 26 条 休学期間内であっても、事由が消滅し、就学しようとするときは、復学願を提出して学長の許可を受けて復学することができる。

(退学)

第 27 条 学生が疾病その他の事由により退学しようとするときは、医師の診断書又は詳細な事由書を添え、保証人連署をもって学長に願出でて許可を受けなければならない。

(再入学)

第 28 条 次の各号の一に該当する者が所定の手続きを経て入学を願出たときは、当該学部教授会の審議を経て、学長が入学を許可することがある。

(1) 本大学を卒業し、さらに同一学部内の他の学科又は、他の学部・学科に入学を願出た者

(2) 本大学を前条により退学し、同一学科に再入学を願出た者

- (3) 第40条第2号により除籍された者で、再入学を願い出た者
- 2 前項による入学者のすでに修得した単位及び在学した期間の認定は、当該学部教授会の審議を経て、学長が決定する。

第5章 授業科目の履修単位修得の認定及び卒業

(授業科目の履修及び単位修得の認定)

- 第29条 学生は、在学中所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。
- 2 一つの授業科目を履修した者に対しては、認定の上所定の単位を与える。
- 3 単位修得の認定は、試験その他によって行なう。
- 4 授業科目の履修及び単位修得の認定に関しては、前3項のほか、別に定める規程に基づくものとする。

(学習の評価)

- 第30条 試験の成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。これを公表する場合は、秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・不可(D)の評価をもってし、不可(D)は不合格とする。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

- 第31条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。
- 3 前2項に関する規程は、別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

- 第31条の2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修のうち本大学が適当と認めるものを、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 2 前項の規定により授与することのできる単位数は、前条の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 3 前2項に関する規程は、別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

- 第32条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本大学に入学した後の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第31条第1項及び第2項並びに前条第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 4 前3項に関する規程は、別に定める。

(卒業)

- 第33条 本大学に4年以上在学し、ただし獣医学部獣医学科は6年以上在学し、次表の単位数を満たした者に対して当該学部教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。

学部	学 科	修得すべき単位数
理学部	応用数学科 基礎理学科 物理学科 化学科 動物学科	124以上
工学部	機械システム工学科 電気電子システム学科 情報工学科 応用化学科 建築学科	124以上
情報理工学部	情報理工学科	124以上
生命科学部	生物科学科	124以上
生物地球学部	生物地球学科 恐竜学科	124以上
教育学部	初等教育学科 中等教育学科	124以上

経営学部	経営学科	124 以上
獣医学部	獣医学科	182 以上
	獣医保健看護学科	124 以上
アクティブラーナーズコース		124 以上

(1) 基盤教育科目については、34 単位以上を修得するものとする。ただし、獣医学部獣医学科においては、外国語教育科目より 10 単位以上、教養教育科目より 19 単位以上を修得するものとし、獣医学部獣医保健看護学科においては、外国語教育科目より 6 単位以上、教養教育科目より 19 単位以上を修得するものとする。

(2) 専門教育科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修得すべき単位数
理 学 部	応用数学科	80 以上
	基礎理学科	
	物理学科	
	化学科	
	動物学科	
工 学 部	機械システム工学科	82 以上
	電気電子システム学科	76 以上
	情報工学科	78 以上
	応用化学科	80 以上
	建築学科	78 以上
情報理工学 部	情報理工学科	80 以上
生 命 科 学 部	生物科学科	80 以上
生物地球学 部	生物地球学科	78 以上
	恐竜学科	
教育学部	初等教育学科	80 以上
	中等教育学科	
経営学部	経営学科	80 以上
獣医学部	獣医学科	145 以上
	獣医保健看護学科	84 以上
アクティブラーナーズコース		18 以上

(早期卒業)

第 33 条の 2 前条の規定にかかわらず、本大学に 3 年以上在学し、卒業の要件として修得すべき単位を優秀な成績をもって修得した学生が、学校教育法第 89 条に規定する卒業（以下「早期卒業」という。）を希望する場合は、当該学部教授会の審議を経て、学長が卒業を認めることができる。ただし、早期卒業の認定を行う学部にあつては、その卒業認定の基準を定め、公表しておかなければならない。

2 前項に関して必要な事項は、別に定める。

3 本大学に他の大学から転入学した者にかかわる早期卒業の必要在学年数については、学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 149 条の定めるところによる。

(資格)

第 33 条の 3 教育職員免許状を得ようとする者は、教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）及び教育職員免許法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、次の免許状を取得する資格が与えられる。

学 部	学 科	免許状の種類	教 科
理 学 部	応用数学科	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	数学・情報
	基礎理学科	中学校教諭一種免許状	数学・理科
		高等学校教諭一種免許状	数学・理科・情報
	物理学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
	化学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
	動物学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
工 学 部	機械システム工学科	中学校教諭一種免許状	技術

	電気電子システム学科	高等学校教諭一種免許状	工業
		中学校教諭一種免許状	技術
	高等学校教諭一種免許状	工業・情報	
	情報工学科	高等学校教諭一種免許状	工業・情報
	応用化学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・工業
建築学科	中学校教諭一種免許状	技術	
	高等学校教諭一種免許状	工業	
情報理工学部	情報理工学科	高等学校教諭一種免許状	情報
生命科学部	生物科学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
生物地球学部	生物地球学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
	恐竜学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
教育学部	初等教育学科	小学校教諭一種免許状	
	中等教育学科	中学校教諭一種免許状	国語・英語
		高等学校教諭一種免許状	国語・英語

2 前項の授業科目及びその履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

第33条の4 学芸員の資格を得ようとする者は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号）に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、学芸員の資格を取得する資格が与えられる。

2 前項の授業科目及びその履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

第33条の5 生命科学部生物科学科に食品衛生管理者及び食品衛生監視員の養成課程を置く。

2 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格を取得しようとする者は、食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成施設の指定基準に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格が与えられる。

3 前項に関して必要な事項は、別に定める。

（学位）

第34条 本大学の卒業を認定された者に対し、学位授与の方針に基づき、次の学位を授与する。

理学部	学士（理学）
工学部	学士（工学）
情報理工学部	学士（情報理工学）
生命科学部	学士（生命科学）
生物地球学部	学士（理学）
教育学部	学士（教育学）
経営学部	学士（経営学）
獣医学部獣医学科	学士（獣医学）
獣医保健看護学科	学士（獣医保健看護学）

2 学位の授与に関し必要な事項については、本大学学位規程の定めるところによる。

3 前項に関わらずアクティブラーナーズコースにおける学位の授与はアクティブラーナーズコース規程に定める。

第6章 表彰・懲戒及び除籍

（表彰）

第35条 学長は、学生が他の模範となる行為をしたときは、学部長及び第66条に定める機構の長からの推薦に基づき表彰することができる。

2 表彰に関する規程は別に定める。

（懲戒）

第36条 学生が本大学の諸規則に違反し、学内の秩序を乱し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の審議を経て、学長がこれを懲戒する。

2 懲戒に関する規程は別に定める。

第37条 懲戒の種類は次のとおりとする。

訓 告
停 学
退 学

第38条 学生が次の各号の一に該当するときは、学長は懲戒により退学を命ずることができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく出席常でない者
- (4) 学内の秩序を乱し学生の本分に反した者

第39条 停学が引続き3月以上にわたるときは、その期間は修業年限に算入しない。

(除籍)

第40条 学長は、次の各号の一に該当するとき、当該学生を除籍することができる。

- (1) 第4条の在学期間修業してなお卒業の認められない者
- (2) 正当な理由がなく授業料その他の諸納付金納入の義務を怠り、再三の督促を受けてもなお納入しない者
- (3) 死亡又は失踪した者

第7章 入学検定料・入学金及び授業料その他

第41条 本大学の入学検定料、入学金及び授業料等は別表Ⅶのとおりとする。

第42条 演習及び実習などに要する費用は別に徴収する。

第43条 前2条の諸納付金は、別に定める規程により納入しなければならない。

- 2 所定の期日までに納付金の納入を怠っている者は、それを納入するまで授業及び試験に出席すること、並びに附属図書館備えつけの図書を開覧することを禁止することがある。

第44条 休学者の納付金の取り扱いは別に定める。

第45条 転学、退学及び停学者は、その期の諸納付金は納入しなければならない。

第46条 在学中諸納付金（授業料を除く。）に変更あるときは、新たに定められた金額をその期から納入しなければならない。

第47条 既納の納付金は一切返さない。

第8章 科目等履修生・単位互換履修生・研究生・委託生

(科目等履修生)

第48条 本大学生以外の者で本大学の特定の授業科目について履修を願いでた者があるときは、授業に支障をきたさない限り選考の上、学長は、科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 科目等履修生の検定料・入学金及び履修料は、別表Ⅸのとおりとする。
- 3 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

(単位互換履修生)

第49条 他の大学又は短期大学との協議に基づき、当該大学の学生で、本大学の授業科目を履修しようとする者があるときは、学長は、単位互換履修生として許可することがある。

- 2 前項に関する規程は、別に定める。

(研究生)

第50条 本大学に研究生を受け入れることができる。

- 2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(委託生)

第51条 公共団体その他の機関から本大学特定の授業科目について修学を委託されたときは、授業に支障をきたさない限り、選考の上、学長は委託生として許可することがある。

- 2 委託生に関する規程は、別に定める。

第9章 外国人留学生

(外国人留学生)

第52条 日本国以外に居住する外国人又は大学入学を目的として本国に入国している外国人で、本大学の学部学生、科目等履修生、研究生又は委託生として入学を志願する者がある時は選考の上、学長は、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第53条 削除

第10章 特待生及び奨学生

第54条 学生にして学力優秀品行方正かつ身体強健なる者を特待生とすることがある。

第55条 前条に関する規程は別に定める。

第11章 教職員組織

第56条 本大学に学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他の教職員を置く。

第12章 運営組織

(運営組織)

第57条 学校教育法(昭和22年法律第26号)第93条第1項の規定に基づき、本大学に教授会に相当する組織を置く。

2 前項については、学長が別に定める。

(学部教授会)

第58条 本大学の各学部に学部教授会を置く。

2 各学部教授会は、学部専任の教授、准教授、講師及び助教並びに学部教授会があらかじめ定めた学部所属以外の専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。

3 各学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項で、学部教授会等の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

4 各学部教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長及び学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 学部教授会に関する規程は別に定める。

第59条 アクティブラーナーズコースにアクティブラーナーズコース運営委員会を置く。

2 本学則において学部教授会の審議を経ることと定める事項、並びに第58条第3項及び第4項に定める学長に意見を述べる事項については、アクティブラーナーズコース運営委員会の審議を経ることとする。

(大学協議会)

第60条 本大学に大学協議会を置く。

2 大学協議会は、本大学の教学に関する全学的事項を審議し、学長に最終的な意見として意見を述べるものとする。

3 大学協議会に関する規程は別に定める。

第61条 削除

第13章 通信教育部

(通信教育部)

第62条 本大学に通信教育部を置く。

2 前項に関する規程は別に定める。

第14章 大学院

(大学院)

第63条 本大学に大学院を置く。

2 前項に関する学則は別に定める。

第15章 教職特別課程

(教職特別課程)

第64条 本大学に教職特別課程を置く。

- 2 前項に関する規程は別に定める。
- 3 本課程の入学検定料・入学金及び授業料等は別表Ⅷのとおりとする。

第16章 留学生別科

(留学生別科)

第65条 本大学に留学生別科を置く。

- 2 留学生別科の定員は60名とする。
- 3 留学生別科に関する規程は別に定める。

第17章 機 構

(機構)

第66条 本大学の方針に基づき、教育の充実、学生支援の充実及び研究の推進を組織的に展開し、質の向上を図るため、次の機構を置く。

- (1) 教育推進機構
 - (2) 学生支援機構
 - (3) 研究・社会連携機構
- 2 前項各号に関する規程は別に定める。

第18章 附 属 施 設

(附属施設)

第67条 本大学に次の附属施設を置く。

- (1) 図書館
 - (2) 健康管理センター
 - (3) 情報基盤センター
 - (4) フロンティア理工学研究所
 - (5) 自然フィールドワークセンター
 - (6) ワイン発酵科学センター
 - (7) 工作センター
 - (8) 生物医科学検査研究センター
 - (9) 古生物学・年代学研究センター
 - (10) 建築歴史文化研究センター
 - (11) 蒜山学舎
 - (12) 寄宿舍
 - (13) 獣医学教育病院
- 2 前項第1号から第3号までは、学生支援機構に所属し、第4号から第10号までは、研究・社会連携機構に所属する。
 - 3 第1項各号に関する規程は、別に定める。

第19章 雑 則

(改正)

第68条 岡山理科大学学則の改正は、学部教授会及び大学協議会の審議を経て、理事会で決定する。

附 則

この学則は昭和39年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和39年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和41年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和44年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和46年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第9条、第10条、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和48年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生（応用物理学科47年度入学生は除く）は、第9条、第10条、第33条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和49年1月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和49年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和50年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和51年3月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第41条、第70条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和52年3月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第41条、第70条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和53年3月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第41条、第70条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和53年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和54年3月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第41条、第70条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和54年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和55年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条については従前の規定による。

なお、第2条の応用化学科応用化学専攻、環境化学専攻の総定員については、昭和55年度60名、昭和56年度120名、昭和57年度180名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は昭和55年8月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和56年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条、第41条、第69条については従前の規定による。

なお、第2条の電子理学科の総定員については、昭和56年度420名、昭和57年度440名、昭和58年度460名、基礎理学科の総定員については、昭和56年度340名、昭和57年度360名、昭和58年度380名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は昭和57年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第33条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

なお、第2条の応用物理学科の総定員については、昭和57年度420名、昭和58年度440名、昭和59年度460名、電子理学科電子物性専攻、情報・システム専攻の総定員については、昭和57年度60名、昭和58年度120名、昭和59年度180名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は昭和58年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和60年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第41条、第44条、第69条については従前の規定によるものとし第10条の基礎理学科の専門教育科目およびその単位数については、昭和58年度入学生より適用するものとする。

附 則

この改正学則は昭和61年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第9条、第10条、第33条、第41条、第44条、第69条については、従前の規定による。

なお、第2条の工学部応用化学科応用化学専攻、開発化学専攻、機械工学科機械基礎工学専攻、産業機械工学専攻、電子工学科電子工学専攻、情報・システム専攻の総定員については、昭和61年度60名、昭和62年度120名、昭和63年度180名と読み替えるものとし、理学部応用化学科応用化学専攻、環境化学専攻、機械理学科、電子理学科電子物性専攻、情報・システム専攻については、昭和61年度より募集停止とする。

また、第2条の規定にかかわらず、昭和61年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	80名
情報専攻	80名
化学科	120名
応用物理学科	130名
基礎理学科	120名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
開発化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名
電子工学科	
電子工学専攻	60名
情報・システム専攻	60名
計	890名

附 則

この改正学則は昭和62年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和62年7月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和63年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

なお、第2条の理学部生物化学科の総定員については、昭和63年度100名、平成元年度200名、平成2年度300名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は平成 元年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成2年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条、第66条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成3年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第10条については、従前の規定によるものとし、第10条第2項の電子工学科の専門教育科目特別講義およびその単位数については、昭和63年度入学生より適用するものとする。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	80名
情報専攻	80名
化学科	120名
応用物理学科	130名
基礎理学科	120名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
開発化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名
電子工学科	
電子工学専攻	100名
情報・システム専攻	100名
計	1,070名

附 則

この改正学則は平成3年9月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成4年2月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成4年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第10条、第33条については、従前の規定による。

なお、第2条の工学部電子工学科の総定員については、平成4年度440名、平成5年度400名、平成6年度360名、工学部情報工学科の総定員については、平成4年度80名、平成5年度160名、平成6年度240名と読み替えるものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	120名
情報専攻	120名
化学科	120名
応用物理学科	130名
基礎理学科	140名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	80名
開発化学専攻	80名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名

電子工学科	120名
情報工学科	120名
計	1,250名

附 則

この改正学則は平成4年12月21日から施行する。

附 則

この改正学則は平成5年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は第2条、第8条、第9条、第10条、第11条、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成5年4月26日から施行する。

附 則

この改正学則は平成6年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成6年5月23日から施行する。

附 則

この改正学則は平成6年7月18日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成7年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、平成7年度から平成9年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成7年度	平成8年度	平成9年度
理学部			
応用数学科			
数学専攻	270名	260名	250名
情報専攻	270名	260名	250名
化学科	390名	380名	370名
応用物理学科	460名	440名	420名
基礎理学科	380名	360名	340名
生物化学科	400名	400名	400名
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	220名	200名	180名
精密化学専攻	220名	200名	180名
機械工学科			
機械基礎工学専攻	240名	240名	240名
機械システム工学専攻	240名	240名	240名
電子工学科	320名	320名	320名
情報工学科	320名	320名	320名
計	3,730名	3,620名	3,510名

なお、第2条の規定にかかわらず、平成7年度から平成11年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
--------	------

学部	
応用数学科	
数学専攻	110名
情報専攻	110名
化学科	110名
応用物理学科	110名
基礎理学科	120名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
開発化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名
電子工学科	120名
情報工学科	120名
計	1,140名

附 則

この改正学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成9年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成9年度	平成10年度	平成11年度
理学部			
応用数学科	440名	360名	300名
化学科	365名	350名	345名
応用物理学科	390名	340名	310名
基礎理学科	325名	290名	275名
生物化学科	400名	400名	400名
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	180名	160名	160名
精密化学専攻	180名	160名	160名
機械工学科			
機械基礎工学専攻	240名	240名	240名
機械システム工学専攻	240名	240名	240名
電子工学科	320名	320名	320名
情報工学科	320名	320名	320名
総合情報学部			
数理情報学科	50名	100名	150名
シミュレーション物理学科	40名	80名	120名
生物地球システム学科	70名	140名	210名
社会情報学科	70名	140名	210名
計	3,630名	3,640名	3,760名

また、第2条の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
--------	------

理学部	
応用数学科	110名
化学科	105名
応用物理学科	80名
基礎理学科	105名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
精密化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
機械システム工学専攻	60名
電子工学科	120名
情報工学科	120名
総合情報学部	
数理情報学科	100名
シミュレーション物理学科	40名
生物地球システム学科	70名
社会情報学科	70名
計	1,260名

なお、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第11条、第33条については、従前の規定による。

さらに、第9条に定める別表Ⅰ・別表ⅡのB2群の授業科目「企業情報特論」およびその単位数については、平成5年度入学生より適用するものとし、第9条に定める別表Ⅰ・別表ⅡのD群の授業科目およびその単位数については、平成9年度在学生より適用するものとする。

附 則

この改正学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成11年4月1日から施行する。

なお、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第11条、第33条については従前の規定による。

また、第2条に定める理学部生物化学科臨床生物化学専攻編入学定員2名については、平成14年度より適用するものとする。

さらに、第9条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱの授業科目「企業等体験実習」およびその単位数については平成5年度入学生より適用するものとする。

附 則

この改正学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第3条、第9条、第11条、第13条、第31条、第32条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部					
応用数学科	240名	240名	240名	240名	240名
化学科	340名	340名	340名	340名	340名
応用物理学科	280名	280名	280名	280名	280名
基礎理学科	260名	260名	260名	260名	260名
生物化学科					
生物化学専攻	400名	400名	400名	400名	400名
臨床生物化学専攻	80名	120名	162名	162名	162名
工学部					
応用化学科					
応用化学専攻	160名	160名	160名	160名	160名
精密化学専攻	160名	160名	160名	160名	160名
機械工学科					
機械基礎工学専攻	240名	240名	240名	240名	240名
機械システム工学専攻	240名	240名	240名	240名	240名
電子工学科	320名	320名	320名	320名	320名
情報工学科	320名	320名	320名	320名	320名
総合情報学部					
数理情報学科	200名	200名	200名	200名	200名

シミュレーション物理学科	160名	160名	160名	160名	160名
生物地球システム学科	280名	280名	280名	280名	280名
社会情報学科	280名	280名	280名	280名	280名
計	3,960名	4,000名	4,042名	4,042名	4,042名

また、第2条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部					
応用数学科	105名	100名	95名	90名	85名
化学科	103名	101名	99名	97名	95名
応用物理学科	79名	78名	77名	76名	75名
基礎理学科	101名	97名	93名	89名	85名
生物化学科					
生物化学専攻	100名	100名	100名	100名	100名
臨床生物化学専攻	40名	40名	42名	42名	42名
工学部					
応用化学科					
応用化学専攻	58名	56名	54名	52名	50名
精密化学専攻	58名	56名	54名	52名	50名
機械工学科					
機械基礎工学専攻	60名	60名	60名	60名	60名
機械システム工学専攻	60名	60名	60名	60名	60名
電子工学科	116名	112名	108名	104名	100名
情報工学科	116名	112名	108名	104名	100名
総合情報学部					
数理情報学科	95名	90名	85名	80名	75名
シミュレーション物理学科	40名	40名	40名	40名	40名
生物地球システム学科	70名	70名	70名	70名	70名
社会情報学科	70名	70名	70名	70名	70名
計	1,271名	1,242名	1,215名	1,186名	1,157名

附 則

この改正学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第31条、第31条の2、第32条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部				
応用数学科	240名	240名	240名	240名
化学科	340名	340名	340名	340名
応用物理学科	280名	280名	280名	280名
基礎理学科	260名	260名	260名	260名
生物化学科				
生物化学専攻	400名	400名	400名	400名
臨床生物化学専攻	120名	162名	162名	162名
工学部				
応用化学科				
応用化学専攻	160名	160名	160名	160名
生物・環境化学専攻	160名	160名	160名	160名
機械システム工学科	445名	410名	375名	340名
電子工学科	320名	320名	320名	320名
情報工学科	320名	320名	320名	320名
福祉システム工学科	70名	140名	210名	280名
総合情報学部				
情報科学科	225名	250名	275名	300名
シミュレーション物理学科	160名	160名	160名	160名
生物地球システム学科	280名	280名	280名	280名

社会情報学科	280名	280名	280名	280名
計	4,060名	4,162名	4,222名	4,282名

また、第2条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部				
応用数学科	100名	95名	90名	85名
化学科	101名	99名	97名	95名
応用物理学科	78名	77名	76名	75名
基礎理学科	97名	93名	89名	85名
生物化学科				
生物化学専攻	100名	100名	100名	100名
臨床生物化学専攻	40名	42名	42名	42名
工学部				
応用化学科				
応用化学専攻	51名	49名	47名	45名
生物・環境化学専攻	56名	54名	52名	50名
機械システム工学科	85名	85名	85名	85名
電子工学科	112名	108名	104名	100名
情報工学科	112名	108名	104名	100名
福祉システム工学科	70名	70名	70名	70名
総合情報学部				
情報科学科	115名	110名	105名	100名
シミュレーション物理学科	40名	40名	40名	40名
生物地球システム学科	70名	70名	70名	70名
社会情報学科	70名	70名	70名	70名
計	1,297名	1,270名	1,241名	1,212名

附 則

この改正学則は、平成14年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の理学部応用物理学科物理科学専攻の収容定員については、平成14年度40名、平成15年度80名、平成16年度120名、応用物理学科医用科学専攻の収容定員については、平成14年度30名、平成15年度60名、平成16年度90名と読み替えるものとする。

さらに、第2条の総合情報学部コンピュータシミュレーション学科の収容定員については、平成14年度40名、平成15年度80名、平成16年度120名と読み替えるものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部			
応用数学科	95名	90名	85名
化学科	99名	97名	95名
応用物理学科			
物理科学専攻	47名	46名	45名
医用科学専攻	30名	30名	30名
基礎理学科	93名	89名	85名
生物化学科			
生物化学専攻	100名	100名	100名
臨床生物化学専攻	42名	42名	42名
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	49名	47名	45名
生物・環境化学専攻	54名	52名	50名
機械システム工学科	85名	85名	85名
電子工学科	108名	104名	100名
情報工学科	108名	104名	100名
福祉システム工学科	70名	70名	70名
総合情報学部			
情報科学科	110名	105名	100名
コンピュータシミュレーション学科	40名	40名	40名
生物地球システム学科	70名	70名	70名

社会情報学科	70名	70名	70名
計	1,270名	1,241名	1,212名

附 則

この改正学則は、平成15年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の総合情報学部社会情報学科地域人間情報専攻の収容定員については、平成15年度35名、平成16年度70名、平成17年度105名、社会情報学科情報社会システム専攻の収容定員については、平成15年度35名、平成16年度70名、平成17年度105名と読み替えるものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成15年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成15年度	平成16年度
理学部		
応用数学科	90名	85名
化学科	97名	95名
応用物理学科		
物理科学専攻	46名	45名
医用科学専攻	30名	30名
基礎理学科	89名	85名
生物化学科		
生物化学専攻	100名	100名
臨床生物化学専攻	42名	42名
工学部		
応用化学科		
応用化学専攻	47名	45名
生物・環境化学専攻	52名	50名
機械システム工学科	85名	85名
電子工学科	104名	100名
情報工学科	104名	100名
福祉システム工学科	70名	70名
総合情報学部		
情報科学科	105名	100名
コンピュータシミュレーション学科	40名	40名
生物地球システム学科	70名	70名
社会情報学科		
地域人間情報専攻	35名	35名
情報社会システム専攻	35名	35名
計	1,241名	1,212名

附 則

この改正学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	名	名	名
理学部			
応用数学科	265	290	315
化学科	340	340	340
応用物理学科	70		
物理科学専攻	125	175	175
医用科学専攻	90	120	120
基礎理学科	270	280	290
生物化学科	90	180	270
生物化学専攻	300	200	100
臨床生物化学専攻	120	80	40
臨床生命科学科	80	160	240
小 計	1750	1820	1890

工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	165	170	175
生物・環境化学専攻	165	170	175
機械システム工学科	345	350	355
電子工学科	330	340	350
情報工学科	350	380	410
福祉システム工学科	280	280	280
小計	1635	1690	1745
総合情報学部			
情報科学科	315	330	345
コンピュータシミュレーション学科	160	160	160
生物地球システム学科	290	300	310
社会情報学科	140	70	
地域人間情報専攻	70	105	140
情報社会システム専攻	70	105	140
小計	1045	1070	1095
計	4430	4580	4730

附 則

この改正学則は、平成17年4月1日から施行する。

なお、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。ただし、第9条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱ・別表Ⅲの授業科目「インターンシップ」およびその単位数については平成12年度入学生より適用するものとする。第2条の化学科の収容定員については、平成17年度335名、平成18年度330名、平成19年度325名と読み替えるものとする。

また、第2条の基礎理学科の収容定員については、平成17年度285名、平成18年度300名、平成19年度315名と読み替えるものとする。

さらに、第2条の知能機械工学科の収容定員については、平成17年度70名、平成18年度140名、平成19年度210名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

なお、第9条に定める別表Ⅰ応用物理学科医用科学専攻の授業科目「関係法規」、「基礎医学実習」、「薬理学」、「医用治療機器学」、「医用治療機器学実習」、「医用機器安全管理学実習」、「医用生体計測装置学実習」、「生体機能代行装置学実習Ⅰ」、「生体機能代行装置学Ⅱ」、「生体機能代行装置学実習Ⅱ」、「生体機能代行装置学Ⅲ」、「生体機能代行装置学実習Ⅲ」、「臨床医学総論Ⅰ」、「臨床医学総論Ⅱ」、「臨床医学総論Ⅲ」、「臨床医学総論Ⅳ」、「臨床実習Ⅰ」、「臨床実習Ⅱ」、「臨床実習Ⅲ」、「臨床実習Ⅳ」およびその単位数については平成17年度入学生より適用するものとし、第9条に定める別表Ⅱの授業科目「技術マネジメント」およびその単位数については平成15年度入学生より適用するものとする。

また、次の3学科については、平成18年度の入学定員変更に伴い収容定員を読み替える。

(1) 化学科の入学定員を80名から75名に変更することに伴い、第2条の収容定員を平成18年度325名、平成19年度315名、平成20年度305名と読み替えるものとする。

(2) 応用物理学科物理科学専攻の入学定員を45名から35名に変更することに伴い、第2条の収容定員を平成18年度170名、平成19年度160名、平成20年度150名とする。また、応用物理学科医用科学専攻の入学定員を30名から40名に変更することに伴い、第2条の収容定員を平成18年度130名、平成19年度140名、平成20年度150名と読み替えるものとする。

(3) 臨床生命科学科の入学定員を80名から85名に変更することに伴い、第2条の収容定員を平成18年度245名、平成19年度330名、平成20年度335名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は、平成19年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

なお、第9条に定める別表Ⅰ応用物理学科医用科学専攻の授業科目「臨床医学特論Ⅰ」、「臨床医学特論Ⅱ」、「臨床医学特論Ⅲ」、「臨床医学特論Ⅳ」およびその単位数については平成17年度入学生より適用するものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成19年度から平成21年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

なお、平成19年度より工学部生体医工学科、総合情報学部建築学科を設置し、総合情報学部コンピュータシミュレーション学科を募集停止とする。

学部・学科等	平成19年度	平成20年度	平成21年度
理学部	名	名	名
応用数学科	340	340	340
化学科	315	305	300
応用物理学科			
物理科学専攻	160	150	140
医用科学専攻	140	150	160
基礎理学科	315	320	320
生物化学科	360	360	360
臨床生命科学科	330	335	340
小計	1,960	1,960	1,960
工学部			
バイオ・応用化学科	350	340	330
機械システム工学科	355	350	345
電気電子システム学科	340	320	300
情報工学科	415	390	365
福祉システム工学科	70		
知能機械工学科	210	280	280
生体医工学科	60	120	180
小計	1,800	1,800	1,800
総合情報学部			
情報科学科	350	340	330
コンピュータシミュレーション学科	120	80	40
生物地球システム学科	320	320	320
社会情報学科	280	280	280
建築学科	80	160	250
小計	1,150	1,180	1,220
計	4,910	4,940	4,980

附 則

この改正学則は、平成20年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

なお、第9条に定める別表Ⅰ応用物理学科医用科学専攻の授業科目「特別研究」の必修・選択の別については、平成17年度入学生より適用するものとし、第9条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱ・別表Ⅲの授業科目「キャリア形成講座」およびその単位数については平成13年度入学生より適用するものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成20年度から平成22年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成20年度	平成21年度	平成22年度
理学部	名	名	名
応用数学科	340	340	340
化学科	305	300	300
応用物理学科			
物理科学専攻	145	130	125
医用科学専攻	150	160	160
基礎理学科	315	310	305
生物化学科	355	350	345
臨床生命科学科	335	340	340
動物学科	40	80	120
小計	1,985	2,010	2,035
工学部			
バイオ・応用化学科	335	320	305
機械システム工学科	350	345	340
電気電子システム学科	320	300	280
情報工学科	390	365	340
知能機械工学科	270	260	250
生体医工学科	120	180	240
小計	1,785	1,770	1,755

総合情報学部			
情報科学科	340	330	320
コンピュータシミュレーション学科	80	40	
生物地球システム学科	310	300	290
社会情報学科	280	280	280
建築学科	160	250	340
小計	1,170	1,200	1,230
計	4,940	4,980	5,020

附 則

この改正学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条、第44条については、従前の規定による。

なお、第33条第1項第2号から第4号については平成20年度入学生より適用するものとする。

附 則

この改正学則は、平成22年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成23年度から平成25年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

なお、平成23年度より工学部建築学科を設置し、総合情報学部建築学科は募集停止とする。

学部・学科等	平成23年度	平成24年度	平成25年度
理学部	名	名	名
応用数学科	350	360	370
化学科	295	290	285
応用物理学科			
物理科学専攻	120	120	120
医用科学専攻	160	160	160
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小計	2,065	2,070	2,075
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	235	230	225
生体医工学科	240	240	240
建築学科	70	140	215
小計	1,805	1,870	1,940
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
生物地球システム学科	280	280	280
社会情報学科	290	300	310
建築学科	260	180	90
小計	1,150	1,080	1,000
計	5,020	5,020	5,015

平成17年4月から学生募集を停止した工学部福祉システム工学科については、当該学科の在学者がいなくなったため、平成23年3月31日をもって廃止する。

附 則

この改正学則は、平成23年10月1日から施行する。ただし、第9条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱ・別表Ⅲの授業科目「ボランティア活動Ⅰ」、「ボランティア活動Ⅱ」およびその単位数については平成14年度入学生より適用するものとする。

附 則

この改正学則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第30条、第

33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成24年度から平成26年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

なお、平成24年度より生物地球学部生物地球学科を設置し、総合情報学部生物地球システム学科は募集停止とする。

学部・学科等	平成24年度	平成25年度	平成26年度
理学部	名	名	名
応用数学科	360	370	380
化学科	290	285	280
応用物理学科			
物理学専攻	120	120	120
医用科学専攻	160	160	160
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小計	2,070	2,075	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	230	225	220
生体医工学科	240	240	240
建築学科	140	215	290
小計	1,870	1,940	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
生物地球システム学科	210	140	70
社会情報学科	300	310	320
建築学科	180	90	0
小計	1,010	860	710
生物地球学部			
生物地球学科	100	200	300
小計	100	200	300
計	5,050	5,075	5,100

附 則

この改正学則は、平成25年4月1日から施行する。なお、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第30条、第33条については、従前の規定による。

ただし、第9条に定める別表IV生物地球学部生物地球学科の授業科目「日本史概論」およびその単位数は平成24年度入学生より適用するものとする。

附 則

平成19年4月から学生募集を停止した総合情報学部コンピュータシミュレーション学科については、当該学科の在学者がいなくなったため、平成25年4月30日をもって廃止する。

この改正学則は、平成25年5月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成26年度から平成28年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成26年度	平成27年度	平成28年度
理学部	名	名	名
応用数学科	380	380	380
化学科	280	280	280
応用物理学科			
物理科学専攻	120	120	120
医用科学専攻	160	160	160
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小計	2,080	2,080	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	220	220	220
生体医工学科	240	240	240
建築学科	290	290	290
小計	2,010	2,010	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
生物地球システム学科	70	0	0
社会情報学科	320	320	320
建築学科	0	0	0
小計	710	640	640
生物地球学部			
生物地球学科	320	440	460
小計	320	440	460
計	5,120	5,170	5,190

附 則

この改正学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成27年度から平成29年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成27年度	平成28年度	平成29年度
理学部	名	名	名
応用数学科	380	380	380
化学科	280	280	280
応用物理学科			
物理科学専攻	130	140	150
医用科学専攻	150	140	130
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小計	2,080	2,080	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	290	290	290
小計	2,010	2,010	2,010

総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
社会情報学科	320	320	320
小 計	640	640	640
生物地球学部			
生物地球学科	440	460	480
小 計	440	460	480
計	5,170	5,190	5,210

附 則

この改正学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成28年度から平成30年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成28年度	平成29年度	平成30年度
理学部	名	名	名
応用数学科	380	380	380
化学科	280	280	280
応用物理学科			
物理科学専攻	140	150	160
臨床工学専攻	140	130	120
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小 計	2,080	2,080	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	290	290	290
小 計	2,010	2,010	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
社会情報学科	320	320	320
小 計	640	640	640
生物地球学部			
生物地球学科	460	480	480
小 計	460	480	480
教育学部			
初等教育学科	70	140	210
中等教育学科	60	120	180
小 計	130	260	390
計	5,320	5,470	5,600

平成23年4月から学生募集を停止した総合情報学部建築学科については、当該学科の在学生在がいなくなったため、平成28年3月31日をもって廃止する。

附 則

この改正学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成29年度から平成31年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

なお、平成29年度より経営学部経営学科を設置し、総合情報学部社会情報学科は募集停止とする。

学部・学科等	平成29年度	平成30年度	平成31年度
理学部	名	名	名
応用数学科	395	410	425
化学科	285	290	295
応用物理学科			
物理科学専攻	155	170	175
臨床工学専攻	130	120	120
基礎理学科	315	330	345
生物化学科	350	360	370
臨床生命科学科	350	360	370
動物学科	165	170	175
小計	2,145	2,210	2,275
工学部			
バイオ・応用化学科	310	320	330
機械システム工学科	345	350	355
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	350	360	370
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	295	300	305
小計	2,040	2,070	2,100
総合情報学部			
情報科学科	340	360	380
社会情報学科	240	160	80
小計	580	520	460
生物地球学部			
生物地球学科	500	520	540
小計	500	520	540
教育学部			
初等教育学科	140	210	280
中等教育学科	120	180	240
小計	260	390	520
経営学部			
経営学科	130	260	390
小計	130	260	390
計	5,655	5,970	6,285

附 則

この改正学則は、平成29年5月1日から施行する。

平成24年4月から学生募集を停止した総合情報学部生物地球システム学科については、当該学科の在学生在がいなくなったため、平成29年4月30日をもって廃止する。

附 則

この改正学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成30年度から平成32年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成30年度	平成31年度	平成32年度
理学部	名	名	名
応用数学科	410	425	440
化学科	290	295	300
応用物理学科			
物理科学専攻	170	175	180
臨床工学専攻	120	120	120
基礎理学科	330	345	360
生物化学科	360	370	380
臨床生命科学科	360	370	380
動物学科	170	175	180
小計	2,210	2,275	2,340

工学部			
バイオ・応用化学科	320	330	340
機械システム工学科	350	355	360
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	360	370	380
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	300	305	310
小計	2,070	2,100	2,130
総合情報学部			
情報科学科	360	380	400
社会情報学科	160	80	0
小計	520	460	400
生物地球学部			
生物地球学科	520	540	560
小計	520	540	560
教育学部			
初等教育学科	210	280	280
中等教育学科	180	240	240
小計	390	520	520
経営学部			
経営学科	260	390	520
小計	260	390	520
獣医学部			
獣医学科	140	280	420
獣医保健看護学科	60	120	180
小計	200	400	600
計	6,170	6,685	7,070

理学専攻科については、平成30年3月31日をもって廃止する。

附 則

この改正学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

2 第2条の規定にかかわらず、平成31年度から平成33年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成31年度	平成32年度	平成33年度
理学部	名	名	名
応用数学科	425	440	440
化学科	295	300	300
応用物理学科			
物理科学専攻	175	180	180
臨床工学専攻	120	120	120
基礎理学科	345	360	360
生物化学科	370	380	380
臨床生命科学科	370	380	380
動物学科	175	180	180
小計	2,275	2,340	2,340
工学部			
バイオ・応用化学科	330	340	340
機械システム工学科	355	360	360
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	370	380	380
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	305	310	310
小計	2,100	2,130	2,130
総合情報学部			
情報科学科	380	400	400
社会情報学科	80	0	0
小計	460	400	400

生物地球学部			
生物地球学科	540	560	560
小計	540	560	560
教育学部			
初等教育学科	280	280	280
中等教育学科	240	240	240
小計	520	520	520
経営学部			
経営学科	390	520	520
小計	390	520	520
獣医学部			
獣医学科	280	420	560
獣医保健看護学科	120	180	240
小計	400	600	800
計	6,685	7,070	7,270

附 則（令和元年5月29日 第1回理事会）

（令和元年10月29日 第8回理事会）

（令和2年3月30日 第14回理事会）

この改正学則は、令和2年4月1日から施行する。

- この改正前に入学者は、第9条、第33条については、従前の規定による。
- 第2条の規定にかかわらず、令和2年度から令和4年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	令和2年度	令和3年度	令和4年度
理学部	名	名	名
応用数学科	440	440	440
化学科	300	300	300
応用物理学科			
物理学専攻	180	180	180
臨床工学専攻	120	120	120
基礎理学科	360	360	360
生物化学科	380	380	380
臨床生命科学科	380	380	380
動物学科	180	180	180
小計	2,340	2,340	2,340
工学部			
バイオ・応用化学科	340	340	340
機械システム工学科	360	360	360
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	380	380	380
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	310	310	310
小計	2,130	2,130	2,130
総合情報学部			
情報科学科	400	400	400
小計	400	400	400
生物地球学部			
生物地球学科	560	560	560
小計	560	560	560
教育学部			
初等教育学科	280	280	280
中等教育学科	240	240	240
小計	520	520	520
経営学部			
経営学科	520	520	520
小計	520	520	520
獣医学部			
獣医学科	420	560	700
獣医保健看護学科	180	240	240

小計	600	800	940
計	7,070	7,270	7,410

4 第9条定める別表Ⅰ理学部臨床生命科学科の授業科目「医療安全管理学」の単位数については、平成30年度入学生は2単位とする。

附則（令和3年3月24日 第14回理事会）

この改正学則は、令和3年4月1日から施行する。

- この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。
- 第2条の規定にかかわらず、令和3年度から令和5年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	令和3年度	令和4年度	令和5年度
理学部	名	名	名
応用数学科	440	440	440
化学科	300	300	300
応用物理学科			
物理学専攻	180	180	180
臨床工学専攻	120	120	120
基礎理学科	360	360	360
生物化学科	380	380	380
臨床生命科学科	380	380	380
動物学科	180	180	180
小計	2,340	2,340	2,340
工学部			
バイオ・応用化学科	340	340	340
機械システム工学科	360	360	360
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	380	380	380
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	310	310	310
小計	2,130	2,130	2,130
総合情報学部			
情報科学科	400	400	400
小計	400	400	400
生物地球学部			
生物地球学科	560	560	560
小計	560	560	560
教育学部			
初等教育学科	280	280	280
中等教育学科	240	240	240
小計	520	520	520
経営学部			
経営学科	520	520	520
小計	520	520	520
獣医学部			
獣医学科	560	700	840
獣医保健看護学科	240	240	240
小計	800	940	1,080
計	7,270	7,410	7,550

附則（令和3年9月21日 第6回理事会）

この改正学則は、令和3年10月1日から施行する。

附則（令和3年3月24日 第13回理事会）

附則（令和4年2月22日 第12回理事会）

この改正学則は、令和4年4月1日から施行する。

- この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。

3 第2条の規定にかかわらず、令和4年度から令和6年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	令和4年度	令和5年度	令和6年度
理学部	名	名	名
応用数学科	440	440	440
基礎理学科	360	360	360
物理学科	45	90	135
応用物理学科			
物理科学専攻	135	90	45
臨床工学専攻	90	60	30
化学科	300	300	300
生物化学科	285	190	95
動物学科	180	180	180
臨床生命科学科	335	290	245
小 計	2,170	2,000	1,830
工学部			
機械システム工学科	360	360	360
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	360	340	320
応用化学科	60	120	180
バイオ・応用化学科	255	170	85
知能機械工学科	165	110	55
建築学科	310	310	310
生命医療工学科	205	170	135
小 計	1,995	1,860	1,725
情報理工学部			
情報理工学科	210	420	630
小 計	210	420	630
総合情報学部			
情報科学科	300	200	100
小 計	300	200	100
生命科学部			
生物科学科	165	330	495
小 計	165	330	495
生物地球学部			
生物地球学科	560	560	560
小 計	560	560	560
教育学部			
初等教育学科	280	280	280
中等教育学科	240	240	240
小 計	520	520	520
経営学部			
経営学科	550	580	610
小 計	550	580	610
獣医学部			
獣医学科	700	840	840
獣医保健看護学科	240	240	240
小 計	940	1,080	1,080
計	7,410	7,550	7,550

- 4 令和4年度より情報理工学部情報理工学科を設置し、工学部知能機械工学科、総合情報学部情報科学科は募集停止とする。
- 5 令和4年度より生命科学部生物科学科を設置し、理学部応用物理学科臨床工学専攻、理学部生物化学科は募集停止とする。
- 6 令和4年度よりアクティブラーナーズコースを設置し、工学プロジェクトコースはコース募集を停止する。
- 7 令和4年度より応用物理学科物理科学専攻は物理学科へ、バイオ・応用化学科は応用化学科へ名称変更し、令和4年度入学生より適用する。

附 則（令和5年2月21日 第11回理事会）

この改正学則は、令和5年4月1日から施行する。

- 2 この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。

附 則（令和6年2月27日 第11回理事会）

この改正学則は、令和7年4月1日から施行する。

- 2 この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。
- 3 第2条の規定にかかわらず、令和7年度、令和8年度、令和9年度の生物地球学部生物地球学科の収容定員は540名、520名、500名とし、恐竜学科の収容定員は45名、90名、135名とする。
- 4 第2条の規定にかかわらず、令和7年度、令和8年度、令和9年度の教育学部初等教育学科の収容定員は270名、260名、250名とし、中等教育学科の収容定員は230名、220名、210名とする。
- 5 令和7年度より理学部臨床生命科学科、工学部生命医療工学科は募集停止する。

別表Ⅰ 基盤教育科目の授業科目、単位数及び必修・選択の別

基盤教育科目は全学共通とする。ただし、獣医学部は別表Ⅴ、アクティブラーナーズコースは別表Ⅶによるものとする。

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	2	キャリアデザイン1	1
初修外国語1	2	キャリアデザイン2	1
		キャリアデザイン3	1
		キャリアデザイン4	1
		セルフ・アウェアネス	2
		アサーティブ・コミュニケーション	2
		ライフ・ビルディング	2
		ファシリテーション演習	2
		学びの基礎論1	2
		学びの基礎論2	2
		理解と表現	2
		キャリア形成論	2
		企業情報特論	2
		インターンシップ入門	1
		インターンシップA	1
		インターンシップB	2
		インターンシップC	3
		社会・産業実習	3
		産業課題研究演習	2
		グローバル入門	2
		グローバル実践	1
		グローバル研修ⅠA	1
		グローバル研修ⅠB	1
		グローバル研修ⅠC	1
		グローバル研修ⅡA	2
		グローバル研修ⅡB	2
		グローバル研修Ⅲ	3
		フィットネス	1
		アドベンチャースポーツ	2
		ウインタースポーツ	2
		スポーツスタディ	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		人間を読みとくA	2
		人間を読みとくB	2
		文化を読みとくA	2
		文化を読みとくB	2
		社会を読みとくA	2
		社会を読みとくB	2
		日本国憲法	2
		データを読みとく	2
		自然を読みとく	2
		技術を読みとく	2
		基盤数学(微分積分1)	2
		基盤数学(微分積分2)	2
		基盤数学(線形代数)	2
		基盤物理学1	2
		基盤物理学2	2
		基盤化学1	2
		基盤化学2	2
		基盤生物学1	2
		基盤生物学2	2
		基盤地学1	2
		基盤地学2	2
		基盤物理学実験	2
		基盤化学実験	2
		基盤生物学実験	2
		基盤地学実験	2
		基礎英語	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		基盤英語（初級）	2
		基盤英語（準中級）	2
		基盤英語（中級）	2
		基盤英語（上級）	2
		基礎英会話	2
		学術英語（中級）	2
		学術英語（上級）	2
		Discussion	2
		Presentation	2
		Academic Writing	2
		CLIL	2
		検定英語（初級）	2
		検定英語（上級）	2
		英語で文化	2
		英語コミュニケーション	2
		初修外国語2	2
		基盤日本語1	2
		基盤日本語2	2
		日本語読解作文	2
		日本語口語表現	2
		国際バカロレア概論	2
		I B教育課程・方法論	2
		I B教育評価論	2
		DP数学	2
		DP化学	2
		DP教育実践研究1	2
		DP教育実践研究2	2
		ブドウ・ワイン概論	2
		ブドウ栽培とワイン醸造学	2
		発酵と微生物	2
		ワインプロジェクト実習1	1
		ワインプロジェクト実習2	1
		ワインプロジェクト実習3	1
		科学・工作ボランティア入門	2
		科学ボランティア実践指導1	1
		科学ボランティア実践指導2	1
		科学ボランティア教材研究	1
		科学ボランティア活動1	1
		科学ボランティア活動2	1
		リーダーシップ論	2
		リーダーシップ・ゼミナール	2
		リーダーシップ研修A（国内）	1
		リーダーシップ研修B（海外）	2
		リーダーシップ実践A（国内）	2
		リーダーシップ実践B（学内）	2
		リーダーシップ実践C（海外）	2
		マナーマイスター講座初級	2
		マナーマイスター・チャレンジ	2
		マナーマイスター・アドバンストA（海外）	2
		マナーマイスター・アドバンストB（国内）	2

別表Ⅱ 専門教育科目の授業科目、単位数及び必修・選択の別

(1) 理学部

応用数学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
微分積分学と演習Ⅰ	2	表現とメディアの数理	2
微分積分学と演習Ⅱ	2	情報と職業	2
微分積分学と演習Ⅲ	2	情報化社会と倫理	2
微分積分学と演習Ⅳ	2	演算の数理Ⅰ	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
線型代数学と演習Ⅰ	2	演算の数理Ⅱ	2
線型代数学と演習Ⅱ	2	形の数理Ⅰ	2
線型代数学と演習Ⅲ	2	形の数理Ⅱ	2
線型代数学と演習Ⅳ	2	偶然の数理Ⅰ	2
情報リテラシー	2	偶然の数理Ⅱ	2
微分積分学と演習Ⅴ	2	現象の数理Ⅰ	2
微分積分学と演習Ⅵ	2	現象の数理Ⅱ	2
微分積分学と演習Ⅶ	2	集合と位相Ⅰ	2
微分積分学と演習Ⅷ	2	集合と位相Ⅱ	2
線型代数学と演習Ⅴ	2	解析学と演習Ⅰ	2
線型代数学と演習Ⅵ	2	解析学と演習Ⅱ	2
線型代数学と演習Ⅶ	2	解析学と演習Ⅲ	2
線型代数学と演習Ⅷ	2	解析学と演習Ⅳ	2
計算機とアルゴリズムⅠ	2	代数学と演習Ⅰ	2
計算機とアルゴリズムⅡ	2	代数学と演習Ⅱ	2
卒業研究Ⅰ	4	代数学と演習Ⅲ	2
卒業研究Ⅱ	4	代数学と演習Ⅳ	2
		幾何学と演習Ⅰ	2
		幾何学と演習Ⅱ	2
		幾何学と演習Ⅲ	2
		幾何学と演習Ⅳ	2
		教職への数学Ⅰ	2
		教職への数学Ⅱ	2
		情報数学Ⅰ	2
		情報数学Ⅱ	2
		データの数理Ⅰ	2
		データの数理Ⅱ	2
		シミュレーションの数理	2
		システムの数理Ⅰ	2
		システムの数理Ⅱ	2
		専門英語	2
		特別講義Ⅰ	1
		特別講義Ⅱ	1
		教職基礎演習	1
		数学教材開発指導	2
		授業実践演習	2
		教職基礎数学	2
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2
		数学基礎と演習Ⅰ	2
		数学基礎と演習Ⅱ	2

基礎理学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
卒業研究Ⅰ	4	情報リテラシー	2
卒業研究Ⅱ	4	情報リテラシーⅡ	2
		電子計算機概論	2
		情報システム概論Ⅰ	2
		情報システム概論Ⅱ	2
		情報化社会と倫理	2
		ネットワークとインターネット	2
		基礎解析演習	1
		微分積分学Ⅰ	2
		微分積分学Ⅱ	2
		微分積分学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅰ	2
		線形代数学Ⅱ	2
		線形代数学Ⅲ	2
		数学要論Ⅰ	2
		数学要論Ⅱ	2
		計算機数学	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		プログラム探究	2
		基礎物理学Ⅰ	2
		基礎物理学Ⅱ	2
		物理学実験	2
		基礎化学Ⅰ	2
		基礎化学Ⅱ	2
		生命科学Ⅰ	2
		生命科学Ⅱ	2
		地球科学Ⅰ	2
		地球科学Ⅱ	2
		電気磁気学Ⅰ	2
		分析化学	2
		有機化学Ⅰ	2
		地質学	2
		化学実験	2
		生物学実験	2
		地学実験	2
		野外実践指導実習Ⅰ	2
		教育基礎論	2
		学習・発達論	2
		線形数理	2
		情報システムⅠ	2
		情報システムⅡ	2
		情報と職業	2
		ネットワークとセキュリティーⅠ	2
		ネットワークとセキュリティーⅡ	2
		計算機とアルゴリズムⅠ	2
		計算機とアルゴリズムⅡ	2
		コンピューターとプレゼンテーション	2
		解析学Ⅰ	2
		解析学Ⅱ	2
		解析学統論Ⅰ	2
		数学要論Ⅲ	2
		代数学Ⅰ	2
		解析学統論Ⅱ	2
		解析学統論Ⅲ	2
		解析学統論Ⅳ	2
		代数学Ⅱ	2
		代数学Ⅲ	2
		幾何学Ⅰ	2
		幾何学Ⅱ	2
		幾何学Ⅲ	2
		確率・統計Ⅰ	2
		確率・統計Ⅱ	2
		力学	2
		電気磁気学Ⅱ	2
		光量子科学	2
		エネルギー環境科学	2
		有機化学Ⅱ	2
		物理化学	2
		生物化学	2
		動物生理学	2
		遺伝学	2
		分子生物学	2
		植物生理学	2
		宇宙科学Ⅰ	2
		宇宙科学Ⅱ	2
		鉱物科学	2
		環境地球化学	2
		生態学	2
		水環境科学	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		環境科学	2
		環境地質学	2
		専門英語	2
		教職基礎演習	1
		野外実践指導実習Ⅱ	2
		数学教材開発指導	2
		理科教材開発指導	2
		授業実践演習	2
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2
		教職のための数学Ⅰ	2
		教職のための数学Ⅱ	2
		教職のための数学Ⅲ	2
		教職のための物理	2
		教職のための生物	2
		教職のための化学	2
		教職のための地学	2
		現代教育Ⅰ	2
		現代教育Ⅱ	2
		教職実践演習(中・高)	2
		エネルギー環境科学実験	2
		生物科学実験	2
		環境化学実験	2
		地球科学実験	2
		自然科学探求ゼミナール	2
		数学探求ゼミナール	2
		現代教育探求ゼミナール	2

物理学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
物理学基礎実験	2	質点の力学Ⅰ	2
電気・電子工学実験Ⅰ	2	質点の力学Ⅱ	2
特別研究Ⅰ	4	微分積分学Ⅰ	2
特別研究Ⅱ	4	微分積分学Ⅱ	2
		線形代数学	2
		応用数学	2
		基礎電磁気学Ⅰ	2
		基礎電磁気学Ⅱ	2
		コンピュータ入門Ⅰ	2
		コンピュータ入門Ⅱ	2
		情報処理工学	2
		機械工学	2
		電子工学Ⅰ	2
		電子工学Ⅱ	2
		電気工学概論	2
		システム工学	2
		物性工学	2
		材料工学	2
		計測工学	2
		応用電磁気学	2
		プログラミング	2
		物理数学Ⅰ	2
		物理数学Ⅱ	2
		ベクトル解析・解析力学	2
		剛体の力学	2
		量子力学の基礎	2
		量子力学Ⅰ	2
		量子力学Ⅱ	2
		光物理学	2
		熱力学	2
		熱統計物理	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		物性物理Ⅰ	2
		物性物理Ⅱ	2
		宇宙科学Ⅰ	2
		宇宙科学Ⅱ	2
		素粒子・原子核物理	2
		外国語文献講読Ⅰ	2
		外国語文献講読Ⅱ	2
		応用物理学実験	2
		ゼミナールⅠ	1
		ゼミナールⅡ	1
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		化学基礎実験	2
		生物学基礎論Ⅰ	2
		生物学基礎論Ⅱ	2
		生物学基礎実験	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎実験	2
		教職基礎演習	1
		野外実践指導実習Ⅱ	2
		理科教材開発指導	2
		授業実践演習	2
		教職のための物理	2
		教職のための化学	2
		教職のための地学	2
		教職のための生物	2
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2

化学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
無機化学Ⅰ	2	無機化学演習	2
無機化学Ⅱ	2	有機化学演習	2
無機化学Ⅲ	2	分析化学演習	2
有機化学Ⅰ	2	物理化学演習	2
有機化学Ⅱ	2	コンピュータ入門	2
有機化学Ⅲ	2	化学プレゼンテーション	1
分析化学Ⅰ	2	ポリマーの化学	2
分析化学Ⅱ	2	量子化学	2
物理化学Ⅰ	2	化学のための数学	1
物理化学Ⅱ	2	化学トピックス	2
化学実験Ⅰ	1.5	化学英語ⅠA	1
化学実験Ⅱ	1.5	化学英語ⅠB	1
有機化学実験	3	化学英語ⅡA	1
無機化学実験	3	化学英語ⅡB	1
分析化学実験	3	化学特別実験	8
物理化学実験	3	先端化学実験	3
情報リテラシー	2	固体化学	2
卒業研究Ⅰ	4	錯体化学	2
卒業研究Ⅱ	4	柔らかい分子系の化学	2
		エネルギーの化学	2
		有機分析化学	2
		バイオ有機化学	2
		有機反応化学	2
		薬品合成化学	2
		機器分析化学	2
		化学反応解析	2
		化学環境論	2
		鑑識の化学	2
		化学技術概論	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		安全化学	2
		放射線化学	2
		環境分析化学	2
		教職基礎演習	1
		野外実践指導実習Ⅱ	2
		理科教材開発指導	2
		授業実践演習	2
		教職のための物理	2
		教職のための地学	2
		教職のための生物	2
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2
		教職のための化学	2
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		物理学基礎実験	2
		生物学基礎論Ⅰ	2
		生物学基礎論Ⅱ	2
		生物学基礎実験	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎実験	2

動物学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
動物学ゼミナール	2	動物誌	2
卒業研究Ⅰ	4	動物生理学	2
卒業研究Ⅱ	4	動物比較解剖学	2
		動物機能解剖学	2
		動物遺伝学	2
		生化学	2
		情報リテラシー	2
		パソコン演習	2
		動物と人間	2
		進化動物学Ⅰ	1
		進化動物学Ⅱ	1
		環境考古学	2
		細胞遺伝学	2
		植生学	2
		応用統計学	2
		植物系統分類学	2
		環境地球化学	2
		環境地質学	2
		環境科学	2
		動物環境学	2
		動物行動学	2
		生態学	2
		動物系統分類学	2
		寄生動物学	2
		実験動物学	2
		動物関連法規	2
		動物生殖学	2
		動物発生学	2
		動物資源育種学	2
		動物保全学	2
		自然人類学	2
		霊長類学	2
		脊椎動物学Ⅰ	2
		脊椎動物学Ⅱ	2
		脊椎動物学Ⅲ	1
		脊椎動物学Ⅳ	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		微生物学	2
		動物社会学	2
		動物生態学	2
		集団遺伝学	2
		比較免疫学	2
		動物病理学	2
		動物生理・生化学実習	2
		動物遺伝学実習	2
		動物発生学実習	2
		動物実験・検査学実習	2
		野外調査実習	2
		動物保全・育種学実習	2
		動物解剖学実習	2
		専門英語Ⅰ	2
		専門英語Ⅱ	2
		教職基礎演習	1
		野外実践指導実習Ⅱ	2
		理科教材開発指導	2
		授業実践演習	2
		教職のための物理	2
		教職のための化学	2
		教職のための生物	2
		教職のための地学	2
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		化学基礎実験	2
		物理学基礎実験	2
		地学基礎実験	2

2. 工学部

機械システム工学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
微分と積分	2	数学基礎	2
線形代数	2	フーリエ解析	2
機械数学	2	力学基礎	2
微分方程式	2	機械工学セミナー	2
力学Ⅰ	2	数値計算	2
力学Ⅱ	2	機械材料	2
情報リテラシー	2	熱と流れ	2
コンピュータ基礎	2	機械設計学	2
機械製図Ⅰ	2	機械のデザイン	2
機械製図Ⅱ	2	CAEⅠ	2
加工学実習	2	創造PBLⅠ	2
機械工学実験Ⅰ	2	弾塑性力学の基礎	2
機械工学実験Ⅱ	2	エンジン工学	2
材料力学Ⅰ	2	メカトロニクス	2
材料力学Ⅱ	2	CAD/CAM	2
マテリアルサイエンスⅠ	2	CAEⅡ	2
マテリアルサイエンスⅡ	2	創造PBLⅡ	2
熱力学Ⅰ	2	航空宇宙材料の力学	2
熱力学Ⅱ	2	航空流体力学	2
流体力学Ⅰ	2	航行運動学	2
流体力学Ⅱ	2	ロボット工学	2
機械力学Ⅰ	2	専門英語	2
機械力学Ⅱ	2	経営工学	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
計測工学	2	科学技術倫理	2
自動制御Ⅰ	2	技術マネジメント	2
自動制御Ⅱ	2	工業概論	2
機械要素Ⅰ	2	職業指導	4
機械要素Ⅱ	2	木材加工	2
加工学Ⅰ	2	木材加工実習	2
加工学Ⅱ	2	栽培	2
卒業研究Ⅰ	4		
卒業研究Ⅱ	4		

電気電子システム学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
数学Ⅰ	2	応用数学Ⅱ	2
数学Ⅱ	2	電気電子工学実験Ⅲ	1
数学Ⅲ	2	電気電子工学実験Ⅳ	1
応用数学Ⅰ	2	アナログ回路	2
電磁気学Ⅰ	2	電気電子回路設計	2
電磁気学Ⅱ	2	通信工学	2
電磁気学Ⅲ	2	システム制御の基礎	2
FEEL プログラム	2	電気電子計測	2
電気電子工学実験Ⅰ	2	電子物性の基礎	2
電気電子工学実験Ⅱ	2	プログラミング基礎	2
情報リテラシー	2	電気エネルギー発生工学	2
コンピュータ実習	2	電気エネルギー変換機器	2
電気回路Ⅰ	2	電気エネルギー伝送工学	2
電気回路Ⅱ	2	パワーエレクトロニクス	2
電気回路Ⅲ	2	制御工学	2
コンピュータ工学Ⅰ	2	システム工学	2
卒業研究Ⅰ	4	ロボット工学	2
卒業研究Ⅱ	4	電子物性工学	2
		半導体工学	2
		光・電気電子材料	2
		電子デバイス工学	2
		センサ工学	2
		光・電磁波工学	2
		マイクロ波工学	2
		コンピュータ工学Ⅱ	2
		数値計算	2
		光情報工学	2
		画像工学	2
		コンピュータネットワーク	2
		デジタル回路Ⅰ	2
		デジタル回路Ⅱ	2
		情報と職業	2
		情報化社会と倫理	2
		電波法規	1
		機械工学概論	2
		電気法規施設管理	2
		専門英語Ⅰ	2
		専門英語Ⅱ	2
		経営工学	2
		科学技術倫理	2
		技術マネジメント	2
		工業概論	2
		機械製図Ⅰ	2
		加工学実習	2
		機械工学実験Ⅰ	2
		機械工学実験Ⅱ	2
		加工学Ⅰ	2
		職業指導	4
		木材加工	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		木材加工実習	2
		栽培	2

情報工学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報工学フロンティア I	1	応用数学 I	2
情報工学フロンティア II	1	応用数学 II	2
情報リテラシー	2	電気回路	2
コンピュータ演習	2	実践プログラミング I	2
情報数学 I	2	実践プログラミング II	2
情報数学 II	2	情報と職業	2
論理回路 I	2	情報理論	2
コンピュータ工学 I	2	ソフトウェア工学	2
データ構造とアルゴリズム	2	情報処理実験	2
基礎プログラミング	2	エンジニアリングデザイン実習	2
応用プログラミング	2	論理回路 II	2
情報化と社会	2	コンピュータ工学 II	2
オペレーティングシステム	2	オートマトンと言語理論	2
情報工学実験	2	組込みシステム	2
卒業研究 I	4	並列処理	2
卒業研究 II	4	数値計算	2
		画像処理と CG	2
		アドバンストプログラミング	2
		デジタル信号処理	2
		データベース	2
		インタラクティブシステム	2
		システム工学	2
		人工知能	2
		マルチメディア工学	2
		機械学習・AI プログラミング	2
		情報通信基礎論	2
		コンピュータネットワーク実習	1
		ネットワークセキュリティ	2
		コンピュータネットワーク	2
		暗号とセキュリティ	2
		ワイヤレスネットワーク	2
		経営工学	2
		科学技術倫理	2
		技術マネジメント	2
		工業概論	2
		職業指導	4

応用化学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
基礎化学 I	2	基礎有機化学	2
基礎化学 II	2	解析学 I	2
応用化学基礎演習 I	2	解析学 II	2
応用化学基礎演習 II	2	パソコン演習	2
情報リテラシー	2	数値実験とプレゼンテーション技法	2
フレッシュマンゼミ	2	物理学基礎論 I	2
専門英語 1	2	物理学基礎論 II	2
専門英語 2	2	地学基礎論 I	2
応用化学実験 I	3	地学基礎論 II	2
応用化学実験 II	3	化学基礎実験	2
応用化学実験 III	3	物理学基礎実験	2
応用化学実験 IV	3	生物学基礎実験	2
卒業研究 I	4	地学基礎実験	2
卒業研究 II	4	生物学基礎論 I	2
		生物学基礎論 II	2
		分析化学 I	2
		分析化学 II	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		物理化学Ⅰ	2
		物理化学Ⅱ	2
		化学工学Ⅰ	2
		化学工学Ⅱ	2
		有機化学Ⅰ	2
		有機化学Ⅱ	2
		無機化学Ⅰ	2
		無機化学Ⅱ	2
		生化学Ⅰ	2
		生化学Ⅱ	2
		工業分析化学	2
		応用酵素学	2
		高分子化学	2
		ナノサイエンス	2
		反応工学	2
		創薬化学	2
		セラミックス概論	2
		コロイド界面化学	2
		分子生物学	2
		バイオテクノロジー	2
		細胞生理学	2
		発酵生産と生物化学工学	2
		経営工学	2
		科学技術倫理	2
		技術マネジメント	2
		工業概論	2
		職業指導	4

建築学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	建築法規	2
建築概論	2	建築生産	2
建築材料	2	学外研修	2
設計演習Ⅰ	3	技術者倫理	2
住宅計画	2	エコロジカルデザイン	2
建築計画	2	CAD/CG 演習Ⅰ	2
設計演習Ⅱ	3	日本建築史	2
設計演習Ⅲ	3	住宅生産システム	2
構造力学Ⅰ	2	CAD/CG 演習Ⅱ	2
構造力学Ⅱ	2	設計演習Ⅳ-1	1.5
建築環境工学Ⅰ	2	設計演習Ⅳ-2	1.5
建築設備Ⅱ	2	住宅デザイン論	2
特別研究Ⅰ	4	近代建築史	2
特別研究Ⅱ	4	都市計画	2
		住環境ユニバーサルデザイン	2
		インテリアデザイン・色彩学	2
		設計演習Ⅴ-1	1.5
		設計演習Ⅴ-2	1.5
		西洋建築史	2
		建築デザイン論	2
		ランドスケープデザイン	2
		設計演習Ⅵ	2
		設計方法論	2
		構造力学演習	2
		構造力学Ⅲ	2
		構造力学Ⅳ	2
		鋼構造	2
		鉄筋コンクリート構造	2
		木質構造	2
		構造材料実験	2
		耐震・耐風設計	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		建築基礎構造	2
		構造計画	2
		建築環境工学Ⅱ	2
		建築設備Ⅰ	2
		環境設備工学演習	2
		建築環境設計演習	2
		建築設備設計演習	2
		経営工学	2
		科学技術倫理	2
		技術マネジメント	2
		物理学Ⅰ	2
		物理学Ⅱ	2
		工業概論	2
		機械製図Ⅰ	2
		機械工学実験Ⅰ	2
		機械工学実験Ⅱ	2
		マテリアルサイエンスⅠ	2
		加工学Ⅰ	2
		機械加工実習	2
		職業指導	4
		木材加工	2
		木材加工実習	2
		栽培	2

3. 情報理工学部
情報理工学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
基礎数学Ⅰ	2	基礎解析Ⅰ	2
基礎数学Ⅱ	2	線形代数Ⅰ	2
基礎解析Ⅱ	2	線形代数Ⅱ	2
情報理工学概論	1	解析Ⅰ	2
情報リテラシー	2	応用数学Ⅰ	2
プログラミング基礎	2	応用数学Ⅱ	2
プロジェクト科目Ⅰ	2	論理・集合と写像	2
プロジェクト科目Ⅱ	2	電子計算機概論	2
卒業研究Ⅰ	4	情報システム概論	2
卒業研究Ⅱ	4	ゲームシステム概論	2
		情報処理入門	2
		応用プログラミングⅠ	2
		応用プログラミングⅡ	2
		情報と職業	2
		情報関連法学	2
		アルゴリズムⅠ	1
		アルゴリズムⅡ	1
		データ構造Ⅰ	1
		データ構造Ⅱ	1
		インターネット入門	1
		アルゴリズム入門	1
		ものづくり体験演習	2
		ロボット知能化演習	2
		ロボット創造工学Ⅰ	2
		ロボット創造工学Ⅱ	2
		物理学Ⅰ	2
		物理学Ⅱ	2
		力学Ⅰ	2
		力学Ⅱ	2
		電磁気学	2
		材料力学Ⅰ	2
		材料力学Ⅱ	2
		流体力学	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		熱力学	2
		機械力学	2
		制御工学	2
		加工学	2
		機械加工実習	2
		機械製図 I	2
		機械製図 II	2
		工学共通実験 I	2
		工学共通実験 II	2
		確率	2
		解析演習 I	1
		解析演習 II	1
		数値解析	2
		解析 II	2
		代数 I	2
		代数 II	2
		微分幾何	2
		離散数学 I	2
		離散数学 II	2
		代数演習 I	1
		代数演習 II	1
		位相幾何	2
		情報セキュリティ	2
		コンピュータネットワーク	2
		暗号理論	2
		ネットワーク技術論	2
		ネットワークセキュリティ	2
		セキュリティ運用	2
		システムセキュリィ	2
		We bプログラミング I	2
		We bプログラミング II	2
		データベース	2
		情報理論	2
		応用データベース	2
		情報社会論	2
		We bシステム開発	2
		A Iプログラミング I	2
		A Iプログラミング II	2
		A Iの数理	2
		機械学習	2
		自然言語処理	2
		機械学習システム開発	2
		データサイエンス	2
		統計	2
		データ解析プログラミング	2
		数理統計	2
		データ分析システム開発	2
		データ分析法	2
		応用データサイエンス	2
		ゲームプログラミング I	2
		ゲームプログラミング II	2
		ゲームグラフィックス	2
		ゲームシステム設計	2
		ゲーミフィケーション	2
		ゲーム制作論	2
		ゲームメカニクス	2
		音とコンピュータ	2
		映像制作技術論	2
		コンピュータグラフィックス	2
		コンピュータビジョン	2
		メディアアリティ	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		コンピュータグラフィックス演習	2
		マスメディア制作論	2
		ロボット工学概論	1
		ロボット運動学	2
		ロボットダイナミクス	2
		制御システム工学	2
		ロボットビジョン	2
		ロボット制御工学	2
		知能情報処理	2
		知的システムの数理	2
		バーチャルリアリティ	2
		ロボット制御プログラミング	2
		知的制御システム論	2
		メカトロニクス概論	1
		アナログ電子回路	2
		センサ工学	2
		デジタル電子回路	2
		アクチュエータ機構学	2
		組込みシステムプログラミング	2
		人間工学 I	2
		人間工学 II	2
		ユニバーサルデザイン	2
		材料工学	2
		生活支援工学	2
		専門英語 I	2
		専門英語 II	2

4. 生命科学部
生物科学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	生命科学概論 I	2
卒業研究 I	4	生命科学概論 II	2
卒業研究 II	4	生命科学のための生物学	2
		生命科学のための化学	2
		生命科学のための物理学	2
		コンピュータ演習	2
		生命物質化学	2
		分子遺伝学	2
		細胞生物学	2
		酵素と代謝	2
		生物有機化学	2
		微生物学	2
		分析化学	2
		動物生理学	2
		植物科学	2
		生体反応化学	2
		生物統計と生化学計算法	2
		専門英語	2
		タンパク質科学	2
		生体物質の代謝学	2
		免疫生物学	2
		細胞分子生物学	2
		遺伝子工学	2
		細胞情報制御学	2
		ゲノム科学	2
		進化生物学	2
		ヒト疾患学	2
		発生生物学	2
		植物分子生理学	2
		バイオサイエンス実験	3

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		発酵と食品科学	2
		植物栽培学	2
		微生物の産業利用	2
		生物間共生学	2
		魚類飼育論	2
		アクアリウム環境論	2
		生物活性化学	2
		応用植物資源学	2
		植物育種学	2
		水産生物学実習	1
		生物生産実験	3
		コスメティックサイエンス概論	2
		化粧品開発のための皮膚生物学	2
		食品バイオテクノロジー	2
		皮膚毛髪の発生再生学	2
		化粧品学	2
		食品安全衛生学	2
		食薬学	2
		食品機能学	2
		コスメ・食品実験	3
		環境科学	2
		環境公衆衛生学	2
		環境生態保全学	2
		グリーン物質合成化学	2
		生活環境学	2
		グリーン創薬化学	2
		環境生体応答学	2
		機器分析法	2
		環境科学実験	3
		生体材料学	2
		細胞工学	2
		組織工学	2
		分子生理学	2
		タンパク質医用科学	2
		再生医学	2
		人工臓器概論	2
		医用ナノテクノロジー	2
		医用生物学実験	3
		物理学基礎論 I	2
		物理学基礎論 II	2
		物理学基礎実験	2
		地学基礎論 I	2
		地学基礎論 II	2
		地学基礎実験	2
		教職基礎演習	1
		野外実践指導実習 II	2
		理科教材開発指導	2
		授業実践演習	2
		教職のための物理	2
		教職のための生物	2
		教職のための化学	2
		教職のための地学	2
		教職のための文章表現法	2
		教職のためのプレゼンテーション	2

5. 生物地球学部

生物地球学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
生物地球概論 I	1	野外調査法実習 II	2
生物地球概論 II	1	生物科学概論 I	2
生物地球概論 III	1	生物科学概論 II	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
生物地球概論Ⅳ	1	園芸学概論	2
野外調査法実習Ⅰ	2	考古学概論Ⅰ	2
インターネット	2	考古学概論Ⅱ	2
卒業研究Ⅰ	4	人類学概論	2
卒業研究Ⅱ	4	地理学概論	2
		地球科学概論Ⅰ	2
		地球科学概論Ⅱ	2
		天文学概論Ⅰ	2
		天文学概論Ⅱ	2
		古生物学概論	2
		生物学実習	2
		地理考古学基礎実習	2
		天文地学実習	2
		エコ・ツーリズム技法	2
		情報リテラシー	2
		コンピュータプログラミング	2
		応用統計学	2
		天文・地球気象学のための数学Ⅰ	2
		天文・地球気象学のための数学Ⅱ	2
		植物系統分類学	2
		植物生態学	2
		植物形態学	2
		細胞遺伝学	2
		系統地理学	2
		植生学	2
		資源植物学	2
		植物園芸学実習	4
		動物行動学	2
		昆虫科学	2
		自然史研究法	2
		環境生理学	2
		動物生態学	2
		昆虫生理・生態学	2
		進化生態学	2
		水圏生態学	2
		環境動物学	2
		島嶼生物学	2
		動物学実習	4
		環境考古学	2
		考古科学	2
		日本地誌	2
		自然地理学	2
		自然人類学	2
		日本考古学	2
		先史考古学	2
		東アジア考古学	2
		欧米考古学	2
		技術考古学	2
		地域統計学	2
		考古地理学	2
		人文地理学	2
		世界地誌	2
		地理考古学実習	4
		防災気象学	2
		環境気象学	2
		水理学	1
		地震学	2
		地質学	2
		地球化学	2
		鉱物学	2
		地質図と天気図	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		地球システム科学	2
		砂防学	1
		測量・地理情報システム	1
		土木地質学	1
		土質・岩盤力学	1
		大気物理学	1
		気象予報の流体力学	1
		地学実習	4
		天文学史	2
		天体力学	2
		天体物理学Ⅰ	2
		天体物理学Ⅱ	2
		天文データ解析	2
		天文観測実習	4
		恐竜学Ⅰ	2
		恐竜学Ⅱ	2
		古環境学	2
		古生態学	2
		古哺乳類学	2
		動物系統学	2
		堆積学	2
		古脊椎動物学Ⅰ	2
		古脊椎動物学Ⅱ	2
		古生物学実習	4
		野外博物館実習A (植物)	4
		野外博物館実習B (動物)	4
		野外博物館実習C (地理考古)	4
		野外博物館実習D (地球気象)	4
		野外博物館実習E (天文)	4
		野外博物館実習F (恐竜古生物)	4
		専門英語Ⅰ	2
		専門英語Ⅱ	2
		生物地球特別講義Ⅰ	1
		生物地球特別講義Ⅱ	1
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		物理学基礎実験	2
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		化学基礎実験	2

恐竜学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	生物科学概論	2
生物地球概論Ⅰ	2	考古学概論	2
生物地球概論Ⅱ	2	地球科学概論	2
古生物学基礎実習Ⅰ	2	生物学実習	2
古生物学基礎実習Ⅱ	2	天文地学実習	2
恐竜古生物学ゼミナール	1	応用統計学	2
卒業研究Ⅰ	4	植物系統分類学	2
卒業研究Ⅱ	4	動物行動学	2
		細胞遺伝学	2
		気象学概論	2
		地質学	2
		天文学概論	2
		古脊椎動物学	2
		環境生理学	2
		動物生態学	2
		解剖生理学	2
		植生学	2
		モンゴル恐竜学概論	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		古生物学概論	2
		層位古生物学	2
		恐竜学基礎論	2
		恐竜学Ⅰ	2
		恐竜学Ⅱ	2
		化石研究法	2
		古生物学データ解析	2
		生物地理学	2
		古哺乳類学	2
		モンゴル発掘エクスカージョン	2
		古生物のための基礎病理学	2
		分子古生物学	2
		骨組織学	2
		古生理学	2
		古生態学	2
		タフオノミー論	2
		解剖組織学実習	2
		古環境学	2
		堆積学	2
		動物系統分類学	2
		地史学Ⅰ	2
		地史学Ⅱ	2
		博物館標本作製法	2
		比較形態学実習	2
		恐竜古生物学特別講義	1
		恐竜学博物館演習	3
		恐竜学博物館実習	3
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		物理学基礎実験	2
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		化学基礎実験	2
		博物館資料論	2
		博物館資料保存論	2
		博物館展示論	2

6. 教育学部

初等教育学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
初等国語科内容論	2	初等社会科内容論	2
初等理科内容論	2	算数科内容論	2
初等英語科内容論	1	生活科内容論	2
書写	1	初等音楽科内容論	2
教職論	2	図画工作科内容論	2
教育学原論	2	初等家庭科内容論	2
教育心理学	2	初等体育科内容論	2
教育課程論(初等)	2	教育史	2
初等国語科教育法	2	学習心理学	2
初等社会科教育法	2	教育行政学	2
算数科教育法	2	教育社会学	2
初等理科教育法	2	学校経営	2
生活科教育法	2	小学校教育実習事前・事後指導	1
初等音楽科教育法	2	小学校教育実習Ⅰ	2
図画工作科教育法	2	小学校教育実習Ⅱ	2
初等家庭科教育法	2	教職実践演習(小学校)	2
初等体育科教育法	2	教育学演習(教育史)	2
初等英語科教育法	2	教育学演習(教育社会学)	2
道德教育の理論と方法(初等)	2	教育学演習(教育心理学)	2
総合的な学習の時間の理論と方法(初等)	2	教材分析・開発演習A(国語・算数・社会)	2
特別活動の理論と方法(初等)	2	教材分析・開発演習B(理科・生活・家庭)	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
教育の方法と技術（初等）	2	教材分析・開発演習C（音楽・図工・体育）	2
生徒・進路指導論（初等）	2	特別支援教育論	2
教育相談の理論と方法（初等）	2	理数教育の方法と実践	2
教育現場観察実習（初等）	1	ピアノ奏法Ⅱ	1
情報リテラシー	2	ピアノ奏法Ⅲ	1
ICT活用教育	2	ESD理論と実践	2
ピアノ奏法Ⅰ	1	シティズンシップ教育	2
専門英語Ⅰ	1	国際理解教育概論	2
専門英語Ⅱ	1	国際比較教育論	2
現代教育課題論	2	現代社会と地域と子ども	2
現代教育課題研究	2	多文化コミュニケーション活動	1
探究ゼミⅠ	1	探究活動ⅡA	1
探究ゼミⅡ	1	探究活動ⅡB	1
探究ゼミⅢ	1	探究活動ⅡC	1
探究活動Ⅰ	1	教育ボランティアⅠ	1
教育研究ゼミナール	2	教育ボランティアⅡ	1
卒業研究Ⅰ	2	フィールド観察実習	1
卒業研究Ⅱ	2		

中等教育学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
教職論	2	日本語学概論	2
教育学原論	2	日本語文法	2
教育心理学	2	日本語史	2
教育現場観察実習	1	日本語表現	2
情報リテラシー	2	国語科内容論A	2
ICT活用教育	2	日本文学概論	2
現代教育課題論	2	日本文学史	2
現代教育課題研究	2	日本文学Ⅰ（古典）	2
対照言語論	2	日本文学Ⅱ（近・現代）	2
専門英語Ⅰ	1	国語科内容論B	2
専門英語Ⅱ	1	漢文学概論	2
探究ゼミⅠ	1	漢文学Ⅰ	2
探究ゼミⅡ	1	漢文学Ⅱ	2
探究ゼミⅢ	1	国語科内容論C	2
探究活動Ⅰ	1	書写・書道	1
現代人とことば	2	英語学概論	2
教育研究ゼミナール	2	現代英文法	2
卒業研究Ⅰ	2	英語史	2
卒業研究Ⅱ	2	応用言語学	2
		英語科内容論A	2
		英語文学概論	2
		英語文学史	2
		英語文学講読	2
		英語科内容論B	2
		英語コミュニケーションⅠ	2
		英語コミュニケーションⅡ	2
		国際理解教育概論	2
		異文化理解	2
		英語科内容論C	2
		教育史	2
		学習心理学	2
		教育行政学	2
		教育社会学	2
		学校経営	2
		教育課程論	2
		国語科教育法Ⅰ	2
		国語科教育法Ⅱ	2
		国語科教育法Ⅲ	2
		国語科教育法Ⅳ	2
		英語科教育法Ⅰ	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		英語科教育法Ⅱ	2
		英語科教育法Ⅲ	2
		英語科教育法Ⅳ	2
		日本語教育入門	2
		日本語教育法Ⅰ	2
		日本語教育法Ⅱ	2
		日本語授業の分析と評価	2
		道徳教育の理論と方法	2
		特別活動の理論と方法	2
		教育の方法と技術	2
		生徒・進路指導論	2
		教育相談の理論と方法	2
		総合的な学習の時間の理論と方法	2
		教育実習事前・事後指導	1
		教育実習Ⅰ	1
		教育実習Ⅱ	3
		教職実践演習(中・高)	2
		日本語教育実習	3
		教育学演習(教育史)	2
		教育学演習(教育社会学)	2
		教育学演習(教育心理学)	2
		国語科教材分析・開発演習A	2
		国語科教材分析・開発演習B	2
		国語科教材分析・開発演習C	2
		国語科教育の内容と実践	2
		英語科教材分析・開発演習A	2
		英語科教材分析・開発演習B	2
		英語科教材分析・開発演習C	2
		英語科教育の内容と実践	2
		日本語教育演習	2
		日本語音韻論と実践	2
		現代日本語の多様性と運用	1
		特別支援教育論	2
		ESD理論と実践	2
		異文化受容と適応	2
		シテイズンシップ教育	2
		国際比較教育論	2
		東アジアの言語と文化	2
		現代社会と地域と子ども	2
		Practical CommunicationⅠ	1
		Practical CommunicationⅡ	1
		Practical CommunicationⅢ	1
		Practical CommunicationⅣ	1
		多文化コミュニケーション活動	1
		探究活動ⅡA	1
		探究活動ⅡB	1
		探究活動ⅡC	1
		英語探究Ⅰ	1
		英語探究Ⅱ	1
		英語探究Ⅲ	1
		英語探究Ⅳ	1
		英語探究Ⅴ	1
		英語探究Ⅵ	1
		国語探究Ⅰ	1
		国語探究Ⅱ	1
		教育ボランティアⅠ	1
		教育ボランティアⅡ	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	経営学基礎	2
基礎教養ゼミナール	2	商学基礎	2
イノベーション・ラボ I	4	経済学基礎	2
イノベーション・ラボ II	4	簿記基礎	2
卒業研究 I	2	経営情報基礎	2
卒業研究 II	2	統計学基礎	2
		法学基礎	2
		心理学基礎	2
		スポーツマネジメント論	2
		スポーツ統計学	2
		マーケティング論	2
		マーケティング戦略	2
		サービスマネジメント	2
		サービス社会システム	2
		消費者行動	2
		マーケティング・コミュニケーション	2
		国際経営	2
		まちづくりと商業	2
		観光ビジネス	2
		ベンチャービジネス論	2
		経営戦略	2
		経営組織	2
		人的資源管理	2
		ファイナンシャルプランニング	2
		簿記原理	2
		財務諸表論	2
		ミクロ経済学	2
		マクロ経済学	2
		専門英語 I	2
		専門英語 II	2
		国際社会と法	2
		社会福祉と法	2
		公共政策	2
		経済政策	2
		社会調査入門	2
		調査と分析	2
		データサイエンス入門	2
		ビジネスデータ分析	2
		データサイエンスと分析	2
		意思決定論	2
		マーケティング・サイエンス	2
		マーケティング・モデリング	2
		IT ビジネス戦略	2
		マーケティング・データ分析 1	2
		マーケティング・データ分析 2	2
		社会心理学	2
		集団心理	2
		スポーツデータ解析	2
		現代スポーツメディア論	2
		スポーツマーケティング論	2
		地域スポーツ経営論	2
		e スポーツビジネス論	2
		スポーツと地域イノベーション	2
		スポーツデータ実践講座	2
		スポーツキャリアデザイン	2
		スポーツ社会調査	2
		スポーツ技術・戦略	2
		スポーツトレーニング論	2
		スポーツコーチング論	2
		スポーツ現場実習	2

別表Ⅲ 教職関連科目の単位数
全学共通

授業科目	単位数	備考
教職論	2	
教育学原論	2	
教育史	2	
教育心理学	2	
教育行政学	2	
学校経営	2	
特別支援教育の基礎と方法	1	
教育課程論	2	
数学科教育法Ⅰ	2	該当免許教科の教育法を履修
数学科教育法Ⅱ	2	
数学科教育法Ⅲ	2	
数学科教育法Ⅳ	2	
理科教育法Ⅰ	2	
理科教育法Ⅱ	2	
理科教育法Ⅲ	2	
理科教育法Ⅳ	2	
社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
社会科・公民科教育法Ⅱ	2	
社会科教育法Ⅰ	2	
社会科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅰ	2	
技術科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅲ	2	
技術科教育法Ⅳ	2	
工業科教育法Ⅰ	2	
工業科教育法Ⅱ	2	
情報科教育法Ⅰ	2	
情報科教育法Ⅱ	2	
道徳教育の理論と方法	2	
総合的な学習の時間の指導法	1	
特別活動の理論と方法	2	
教育の方法と技術	2	
生徒・進路指導論	2	
教育相談の理論と方法	2	
教育実習事前・事後指導	1	
教育実習実践指導	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	3	
教職実践演習（中・高）	2	
介護等体験の基礎と方法	1	

別表Ⅳ 学芸員関連科目の単位数
全学共通

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
教育学原論	2	博物館教育論	1
博物館情報論	2	博物館実習	3
自然と文化を学ぶ	2	自然と文化を守る	2
自然と文化を活かす	2		

別表Ⅴ 獣医学部の授業科目、単位数及び必修、選択の別

1. 専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。
獣医学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
動物関連キャリア概論	1	人間・動物関係学	2
生命倫理学	1	生物統計	1
獣医事法規	1	生産農学概論	1
生命科学	1	水産増養殖学	2
獣医分子生物学	1	飼料作物学	2
生命科学実習	1	栄養学	2
化学	1	分子細胞腫瘍学	1
生物物理学	1	発生工学	1
放射線生物学	1	獣医病態モデル学	1
情報リテラシー	2	創薬科学	1
動物福祉論	1	トランスレーショナル・リサーチ	1
科学倫理学	1	比較動物機能科学	1
獣医生化学	2	修復・再生医療科学	1
獣医生化学実習	1	国際ライフサイエンス産業政策論	2
獣医生理学	2	ライフサイエンス特別実習	1
獣医生理学実習	1	国際獣医事概論	1
獣医形態機能学Ⅰ	1	国際動物関連法規	1
獣医形態機能学Ⅱ	2	レギュラトリー科学	1
獣医解剖学実習	2	国際動物疾病学	1
獣医組織学実習	1	国際野生動物管理学	1
獣医薬理学総論	1	産業動物疾病予防管理学	1
獣医薬理学各論	2	産業動物疾病診断病理学	1
獣医薬理学実習	1	セキュリティ学	1
獣医微生物学	2	グローバル食品管理科学	1
獣医微生物学実習	2	医薬品・食品安全性評価演習	1
獣医毒性学	2	国際獣医法医学	1
獣医毒性学実習	1	動物危機管理学	2
動物実験学	2	国際生物資源学	1
獣医実験動物学実習	1	人獣共通感染症学実習	1
獣医病理学総論	1	公共獣医事情報解析実習	1
獣医病理学各論	2	分子疫学	1
獣医病理解剖学実習	1	獣医臨床疫学演習	1
獣医病理学実習	1	エキゾチックアニマル学	1
獣医免疫学	2	抗菌薬バイオロジー	1
獣医免疫学実習	1	国際展示動物疾病学	1
臨床検査学入門	1	トランスレーショナル・ベテリナリーメディシン	1
動物行動学	2	免疫関連疾病学	1
野生動物学	2	獣医高度臨床学	1
動物感染症学	2	チーム獣医療学	1
魚病学	2	総合臨床検査特別実習	1
魚病学実習	1		
医動物学	2		
医動物学実習	1		
人獣共通感染症学	2		
獣医公衆衛生学総論	2		
獣医公衆衛生学実習	1		
食品衛生学	2		
食品衛生学実習	1		
環境衛生学	2		
獣医疫学	2		
遺伝育種学	2		
家禽疾病学	1		

必修科目	単位数	選択科目	単位数
動物衛生学	1		
動物衛生学実習	1		
獣医臨床薬理学	1		
獣医臨床栄養学	1		
獣医内科学総論	1		
獣医臨床病理学	1		
獣医呼吸・循環器病学	2		
獣医消化器病学	2		
獣医泌尿生殖器病学	2		
獣医内分泌代謝学	2		
獣医神経病学	1		
獣医血液・免疫病学	1		
獣医皮膚病学	1		
獣医眼科学	1		
動物行動治療学	1		
小動物内科学実習	1		
獣医外科学総論	1		
獣医手術学総論	1		
獣医麻酔科学	1		
獣医軟部組織外科学	2		
獣医運動器病学	2		
獣医臨床腫瘍学	1		
獣医画像診断学	2		
小動物外科学実習	1.5		
獣医画像診断学実習	1		
産業動物臨床学	2		
馬臨床学	1		
獣医臨床繁殖学	2		
産業動物臨床実習	2		
獣医臨床繁殖学実習	1		
総合獣医学演習Ⅰ	1		
総合獣医学演習Ⅱ	1		
獣医療面接実習	0.5		
総合参加型臨床実習	6		
獣医キャリアスキルアップ研修	2		
卒業論文Ⅰ	2		
卒業論文Ⅱ	2		
卒業論文Ⅲ	2		

獣医保健看護学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
動物関連キャリア概論	1	生命科学	1
情報リテラシー	2	動物分子生物学	1
基礎科学技術実習	1	化学	1
生命倫理・動物福祉	2	生物物理学	1
動物看護関連法規	1	生物統計	1
動物愛護・適正飼養関連法規	1	獣医疫学	2
比較動物学	2	遺伝育種学	2
動物形態機能学A	2	バイオセーフティ学	1
動物形態機能学B	2	生産農学概論	1
動物形態機能学C	1	産業動物学	2
動物形態機能学D	2	産業動物学実習	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
動物形態機能学実習	1	実験動物学A	1
動物繁殖学	2	実験動物学実習A	1
動物栄養学	2	適正飼養指導論	1
動物行動学	2	動物生活環境学	1
人と動物の関係学	2	ペット関連産業概論	1
愛玩動物学	2	動物愛護・適正飼養実習	1
動物看護学概論	2	動物病理学	2
動物薬理学A	1	動物薬理学B	2
動物感染症学A	2	動物薬理学実習	1
動物感染症学C	2	動物感染症学B	2
公衆衛生学A	2	動物感染症学実習A	1
公衆衛生学B	2	動物感染症学実習C	1
動物内科看護学A	2	動物内科看護学B	2
動物臨床看護学総論	2	動物内科看護学実習A	1
動物臨床看護学各論A	2	動物内科看護学実習B	1
動物臨床看護学各論B	2	動物内科看護学実習C	1
動物臨床看護学各論C	2	動物外科看護学	2
動物臨床検査学	2	動物外科看護学実習A	1
プレゼミナールI	2	動物外科看護学実習B	1
プレゼミナールII	2	動物臨床検査学実習	1
		実験動物学B	2
		実験動物学実習B	1
		実験動物学実習C	1
		実験動物看護学演習	1
		動物毒性学	2
		動物毒性学実習	1
		トランスレーショナル・リサーチ	1
		獣医病態モデル学	1
		遺伝子工学	1
		生殖工学	1
		家畜繁殖学	2
		食品衛生学	2
		家畜疾病学	1
		医薬品・食品安全性評価演習	1
		動物園・水族館学	1
		野生動物学	2
		産業動物疾病予防管理学	1
		人工授精学	1
		人工授精学実習	1
		エキゾチックアニマル学	1
		動物医療コミュニケーション	1
		動物の疼痛と福祉	1
		チーム獣医療学	1
		高齢動物看護学	1
		動物臨床看護学実習	1
		動物看護総合実習A	1
		動物看護総合実習B	1
		動物看護総合実習C	1
		動物看護総合実習D	1
		ゼミナールI	2
		ゼミナールII	2
		卒業研究I	4

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		卒業研究Ⅱ	4

2. 外国語教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

獣医学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
総合英語ⅠA	0.5	発信英語ⅢA	0.5
総合英語ⅠB	0.5	発信英語ⅢB	0.5
総合英語ⅡA	0.5	発信英語ⅣA	0.5
総合英語ⅡB	0.5	発信英語ⅣB	0.5
総合英語ⅢA	0.5	専門英語ⅠA	0.5
総合英語ⅢB	0.5	専門英語ⅠB	0.5
総合英語ⅣA	0.5	専門英語ⅡA	0.5
総合英語ⅣB	0.5	専門英語ⅡB	0.5
発信英語ⅠA	0.5	応用英語ⅠA	0.5
発信英語ⅠB	0.5	応用英語ⅠB	0.5
発信英語ⅡA	0.5	応用英語ⅡA	0.5
発信英語ⅡB	0.5	応用英語ⅡB	0.5
		実用英語（アカデミックライティング）	1
		実用英語（プレゼンテーション）	1
		中国語ⅠA	0.5
		中国語ⅠB	0.5
		中国語ⅡA	0.5
		中国語ⅡB	0.5
		ハングルⅠA	0.5
		ハングルⅠB	0.5
		ハングルⅡA	0.5
		ハングルⅡB	0.5
		海外語学研修A	1
		海外語学研修B	2
		海外語学研修C	2
		海外語学研修D	3
		日本語	4
		日本語理解	2
		日本語表現	2
		TOEICセミナーⅠ	2
		TOEICセミナーⅡ	2

獣医保健看護学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
総合英語ⅠA	0.5	総合英語ⅢA	0.5
総合英語ⅠB	0.5	総合英語ⅢB	0.5
総合英語ⅡA	0.5	総合英語ⅣA	0.5
総合英語ⅡB	0.5	総合英語ⅣB	0.5
発信英語ⅠA	0.5	発信英語ⅢA	0.5
発信英語ⅠB	0.5	発信英語ⅢB	0.5
発信英語ⅡA	0.5	発信英語ⅣA	0.5
発信英語ⅡB	0.5	発信英語ⅣB	0.5
		専門英語ⅠA	0.5
		専門英語ⅠB	0.5
		専門英語ⅡA	0.5
		専門英語ⅡB	0.5
		応用英語ⅠA	0.5
		応用英語ⅠB	0.5

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		応用英語ⅡA	0.5
		応用英語ⅡB	0.5
		実用英語（アカデミックライティング）	1
		実用英語（プレゼンテーション）	1
		中国語ⅠA	0.5
		中国語ⅠB	0.5
		中国語ⅡA	0.5
		中国語ⅡB	0.5
		ハングルⅠA	0.5
		ハングルⅠB	0.5
		ハングルⅡA	0.5
		ハングルⅡB	0.5
		海外語学研修A	1
		海外語学研修B	2
		海外語学研修C	2
		海外語学研修D	3
		日本語	4
		日本語理解	2
		日本語表現	2
		TOEICセミナーⅠ	2
		TOEICセミナーⅡ	2

3. 教養教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

獣医学部共通

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	1	心理学A	1
		心理学B	1
		文学A	1
		文学B	1
		日本史A	1
		日本史B	1
		外国史A	1
		外国史B	1
		政治学A	1
		政治学B	1
		国際関係論A	1
		国際関係論B	1
		海外文化研修	2
		経済学A	1
		経済学B	1
		日本国憲法	2
		法学A	1
		法学B	1
		社会と人間A	1
		社会と人間B	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		スポーツとフィールド科学（エコツアー ズムのための野外スポーツ）	2
		スポーツとフィールド科学（スキー）	1
		スポーツとフィールド科学（テニス）	1
		文章表現法基礎編A	1

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		文章表現法基礎編B	1
		プレゼンテーション基礎編A	1
		プレゼンテーション基礎編B	1
		教養演習A	1
		教養演習B	1
		企業と人間A	1
		企業と人間B	1
		キャリア形成講座A	1
		キャリア形成講座B	1
		学びの基礎論A	1
		学びの基礎論B	1
		企業情報特論A	1
		企業情報特論B	1
		インターンシップ概論	1
		インターンシップA	1
		インターンシップB	2
		インターンシップC	3
		文章表現法応用編A	1
		文章表現法応用編B	1
		プレゼンテーション応用編A	1
		プレゼンテーション応用編B	1
		現代人の科学A	1
		現代人の科学B	1
		現代人の科学C	1
		現代人の科学D	1

別表VI アクティブラーナーズコースの授業科目、単位数及び必修、選択の別

1. 基盤教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

必修科目	単位数	選択科目	単位数
初修外国語1	2	フレッシュマンセミナー	2
		キャリアデザイン1	1
		キャリアデザイン2	1
		キャリアデザイン3	1
		キャリアデザイン4	1
		セルフ・アウェアネス	2
		アサーティブ・コミュニケーション	2
		ライフ・ビルディング	2
		学びの基礎論1	2
		学びの基礎論2	2
		理解と表現	2
		キャリア形成論	2
		企業情報特論	2
		インターンシップ入門	1
		インターンシップA	1
		インターンシップB	2
		インターンシップC	3
		社会・産業実習	3
		産業課題研究演習	2
		グローバル入門	2
		グローバル実践	1
		グローバル研修ⅠA	1
		グローバル研修ⅠB	1
		グローバル研修ⅠC	1
		グローバル研修ⅡA	2
		グローバル研修ⅡB	2

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		グローバル研修Ⅲ	3
		スポーツ・ウェルネス	1
		自然と健康・スポーツ科学A	2
		自然と健康・スポーツ科学B	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		人間を読みとくA	2
		人間を読みとくB	2
		文化を読みとくA	2
		文化を読みとくB	2
		社会を読みとくA	2
		社会を読みとくB	2
		日本国憲法	2
		データを読みとく	2
		自然を読みとく	2
		技術を読みとく	2
		基盤数学(微分積分1)	2
		基盤数学(微分積分2)	2
		基盤数学(線形代数)	2
		基盤物理学1	2
		基盤物理学2	2
		基盤化学1	2
		基盤化学2	2
		基盤生物学1	2
		基盤生物学2	2
		基盤地学1	2
		基盤地学2	2
		基盤物理学実験	2
		基盤化学実験	2
		基盤生物学実験	2
		基盤地学実験	2
		基礎英語	2
		基盤英語(初級)	2
		基盤英語(準中級)	2
		基盤英語(中級)	2
		基盤英語(上級)	2
		基礎英会話	2
		学術英語(中級)	2
		学術英語(上級)	2
		Discussion	2
		Presentation	2
		Academic Writing	2
		CLIL	2
		検定英語(初級)	2
		検定英語(上級)	2
		英語で文化	2
		英語コミュニケーション	2
		初修外国語2	2
		初修外国語3	2
		基盤日本語1	2
		基盤日本語2	2
		日本語読解作文	2
		日本語口語表現	2
		国際バカロレア概論	2
		I B教育課程・方法論	2
		I B教育評価論	2

2. 専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。
アクティブラーナーズ修得科目

必修科目	単位数	選択科目	単位数
ラーニングデザイン	2	チームプロジェクトA	2
リフレクション手法1	2	チームプロジェクトB	2
リフレクション手法2	2	ファシリテーション入門	2
課題・問題発見演習	2	ファシリテーション実践	2
チームトライアル	2	アドバイジング実践	2
アクティブラーナーズ実践Ⅰ	3	研究トライアル	2
アクティブラーナーズ実践Ⅱ	3		

ブランドプログラム科目

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		ブドウ・ワイン概論	2
		ブドウ栽培とワイン醸造学	2
		発酵と微生物	2
		ワインプロジェクト実習1	1
		ワインプロジェクト実習2	1
		ワインプロジェクト実習3	1
		科学・工作ボランティア入門	2
		科学ボランティア実践指導1	1
		科学ボランティア実践指導2	1
		科学ボランティア教材研究	1
		科学ボランティア活動1	1
		科学ボランティア活動2	1
		リーダーシップ論	2
		リーダーシップ・ゼミナール	2
		リーダーシップ研修A (国内)	1
		リーダーシップ研修B (海外)	2
		リーダーシップ研修C (学内)	2
		リーダーシップ実践A (国内)	2
		リーダーシップ実践B (学内)	2
		リーダーシップ実践C (学内)	2
		リーダーシップ・アドバンストA (海外)	2
		リーダーシップ・アドバンストB (国内)	1
		マナーマイスター講座初級	2
		マナーマイスター・チャレンジ	2
		マナーマイスター・アドバンストA (海外)	2
		マナーマイスター・アドバンストB (国内)	2

アクティブラーナーズコースの専門教育科目には、上記に定めるもののほか、別表Ⅱに定める全学部全学科の専門教育科目を選択科目として加える。

別表Ⅶ (納付金)

1. 入学検定料 35,000 円
ただし、大学入学共通テストを利用する入学試験を受験する者の入学検定料は20,000 円とする。
2. 入学金 220,000 円
3. 授業料・その他納付金 (年間)

(単位：円)

区分	授業料	その他納付金		
		実験実習費	施設設備費	
理学部 工学部 情報理工学部 生命科学部 生物地球学部 アクティブラーナーズコース	845,000	165,000	1年次	300,000
			2年次以降	460,000
教育学部 経営学部	845,000	50,000	1年次	85,000
			2年次以降	245,000
獣医学部	獣医学科	1,500,000	1年次	500,000
			2年次以降	
獣医学部	獣医保健看護学科	845,000	1年次	300,000
			2年次以降	460,000

別表Ⅷ（教職特別課程の納付金）

（単位：円）

入学検定料	入学金	授業料	その他納付金	
			実験実習費	施設設備費
35,000	60,000	845,000	165,000	420,000

別表Ⅸ（科目等履修生の納付金）

（単位：円）

入学検定料	入学金	一単位当たりの履修料	
		講義科目演習科目	実験実習科目
12,000	22,000	19,000	24,000

○岡山理科大学学部教授会規程

第1条 岡山理科大学学則（以下、「学則」という。）第62条に基づく各学部における学部教授会の運営は、岡山理科大学学部教授会規程（以下、「本規程」という。）の定めるところによる。

第2条 学部教授会の開催は、次のとおりとする。

- (1) 学部長は、毎月1回定例の学部教授会を開く。
- (2) 学部長は、当該学部教授会構成員の3分の1以上から提案がある場合、又は学部長が必要と認めた場合は、臨時の学部教授会を招集する。

第3条 学部教授会は、学部長があらかじめ附議すべき事項を示して招集する。

第4条 学部教授会は、構成員の2分の1以上の出席によって成立する。

- 2 教員の採用人事及び昇任人事の発議並びに名誉教授の推薦に関する事項を審議する学部教授会は、専任教授を構成員とし、3分の2以上の出席によって成立する。

第5条 学部教授会の議長は、学部長が当たる。

第6条 学部長は、学部教授会において審議した内容を、学長に報告するものとする。

第7条 学部教授会は、委員会を設け、これに審議を付託することができる。

- 2 委員会規程は、別に定める。

第8条 学部教授会の運営に関し必要な事項は細則をもって定める。

第9条 本規程に定めるもののほか、各学部において必要な事項は当該学部教授会において定める。

第10条 本規程の改廃は、学部教授会及び大学協議会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 「岡山理科大学理学部教授会規程」、「岡山理科大学工学部教授会規程」、「岡山理科大学総合情報学部教授会規程」及び「岡山理科大学生物地球学部教授会規程」は平成27年3月31日をもって廃止する。

附 則（令和2年3月25日 第12回大学協議会）

この改正規程は、令和2年4月1日から施行する。